

奥宮慥齋日記——明治時代の部(五)——

島 善 高

解題

本号には、奥宮慥齋日記の明治五年一月一日条から二月二十二日条までと、参考史料一点「訓童 人間交際論」(明治五年春)とを翻刻した。それぞれの所蔵番号は次の通りである。

①「備忘日録」(高知市民図書館蔵「奥宮文庫」受入番号七―四九)。

②参考史料、「訓童 人間交際論」(明治五年春)(高知市民図書館蔵「奥宮文庫」受入番号二―五六、二―二五)。

明治四年十月に高知藩の役職を免じられた奥宮慥齋は、病に罹って体調がすぐれず、たびたび医薬治療をしていたが、その合間に、自宅で著作をしたり、書生に講義をしたりしていた。

その後、明治五年一月二十八日、「朝命」により出京すべしとの通達を戸長を通じて手にした。慥齋は早速、出京の準備に取り掛か

って、二月三日に陽貴山に持っていた茶室を売却、二月十九日に荷物を東京に送付し、二月二十三日に出発した。二月二十三日以降の日記は別冊となっているので、本号には出京直前の二月二十二日までを翻刻することにした。

さて、前号で言及したように、慥齋は明治四年十二月十七日に「人間交際往来」上下二冊(高知市民図書館「奥宮文庫」受入番号二―一、二―二五、四―一〇)と題する著作を起草した。本書は、慥齋が冒頭で

此本文ハ、英国人、「チャンブル」氏所撰ノ経済書中、人間交際道ノ起原、風俗国法、及ヒ人民教育等ヲ説キシ、ソサイヤルエコノミト号スル部ニ出タルヲ、諸先輩ノ訳述セシニ拠テ、今之ヲ拔萃シ、注述スルモノニテ毫モ愚ガ妄説ヲ加フルモノニ非ズ、

と書いている通り、「諸先輩ノ訳述」に依拠したものであるが、その先輩とは福澤諭吉のことであって、福澤の『西洋事情外編』の文章を適宜抜粋したものである。福澤は、チェンバース社の経済学教科書 (Chambers's Educational Course. — Edited by W. and R. Chambers, Political Economy, For Use in Schools, and for Private Instruction, Edinburgh: William and Robert Chambers, 1852) を翻訳しているから、慥齋が「英国人、『チャンブル』氏」と言っているのは明らかな誤りである。

慥齋の「人間交際往来」と福澤の『西洋事情外編』とを比べてみると、福澤の文章を殆んどそのまま引用していることが明らかで、漫然とこれを読めば、福澤の著書の単なる焼き直しにしか見えないが、詳細に比較してみると、決定的な違いがある。すなわち、『西洋事情外編』の冒頭に

人ノ生スルヤ天ヨリ之ニ与フル氣力ヲ以テシ、之ニ附スルニ性質ヲ以テシ、此氣力ト性質トニ由テ外物ノ性ニ応シ、以テ身ヲ全シテ、朝露ノ命ヲ終ルコトヲ得ルナリ、
とあるところを、慥齋は

人間ハ、天神ヨリ、靈魂、氣力、性質ノ三ツヲ賜ハリテ生レシ者天地間動物中ノ最靈最奇ナルハ人ナリ、故ニ人此三物ヲ以テ外物ノ性ニ應シ、能ク交際ノ道ヲ尽シ、幸ニワガ身命ヲ全クスルヲ、人間ノ一生涯ト云ナリ、

と改めているのである。慥齋は、人間の本性には、氣力や性質以外に、「靈魂」(アニマ)が備わっていると述べている。慥齋が注釈の

【靈魂】トハ不思議ノ魂性、即天神ノ御魂ト同一赫ニテ、之ヲ分チ賜ハリテ、今日吾人具スル所ノ本心即是ナリ、
皇國ノ古語ニ奇魂ト云、皆同一物別ニ非ス (上欄、○我カ国神ハ別ナリ杯云ハ真ニ可笑ノ甚シキナリ、○此靈魂ハ人間ニ限リタルコトニテ禽獸ハ如何程賢コキモ靈魂アルコトナシ、此説頗ル長シ、今略ス神魂問答ニ詳論ス)

と述べているように、慥齋のいう「靈魂」とは、日本古来の「奇魂」、中国の「天命」、西洋の「アニマ」と同一物であり、また本誌前号(早稲田社会科学総合研究 第一〇巻第三号)で紹介した「喻俗人間靈魂自由權利訳述」(明治四年三月)に

人間ニ限り、天神ヨリ不測ノ靈魂ト云ヲ賜ハリ、天地間ノ所有万物ヲ自由自在ニ我カ物トシ、其使役ニ供スル(中略)即天神ヨリ分チ賜ハリシ天性本心ナリ、
天性本心靈魂異名同物ナリ

云々と書いているように、「天性」や「本心」とも同一物であった。慥齋が注釈に引いている「神魂問答」(明治四年六月執筆、高知市民図書館「奥宮文庫」受入番号三一七三)もまた、日本、中国、西洋の事例を数多く引用して、「靈魂」について詳細に論じている。慥齋が何時頃からこのような人間理解をするようになったのか、別途改めて論じなければならぬが、西洋の「アニマ」についての理解は、恐らくフルベッキからの示唆によったものであるう。何となれば、慥齋は明治三年の秋、たびたびフルベッキと会って「皇朝身滌規則」を起草しており、その時にキリスト教についての理解を深めたことは疑いないからである。

明治五年一月二日、慥齋はこの「人間交際往来」を書生に講義し

た。本書には

「**自主自由ノ權**」トハ、人間ノ天ヨリ得テ、人ノ許ス自然ノ權力ナリ、自主自由トハ、身其主將トナリテ、自由自在ニ為スヲ得ルコトナリ、是モト靈魂天性ニ根サシテ、人々ニ各自ニ具ハリタル当前ノ權柄ニテ、固ヨリ放蕩恣肆ノ謂ニ非ズ、国法ノ許ス処、世人モ亦明許黙許スル所也、

とか

実ニ人間ノ生ル、ヤ、天然ノ貴重物ニテ、貴賤賢不肖ノ差ヒモナク、各々自主自由ノ分ニ於テ、誰ニモ差構^{サシカマ}ヒナク、天下晴レテ自在ノ權柄アルモノナリ、(中略)是故ニ天ヨリ付予セラレタル、自主自由ノ通義ハ、**売ルベカラス亦買フヘカラズ**、自己一家ノ秘藏至宝ナリ、

とかの文章があつて、「天ヨリ付予セラレタル、自主自由ノ通義」が論じられている。健齋は、明治四年三月の「喻俗人間靈魂自由權利記述」にも「人間ノ自主自由ノ權ト云テ、是亦天帝ヨリ御許ヲ受テ来リ、天下晴レテノ權利ナリ」と書いていたので、健齋の講義は、土佐の書生たちに「天賦人權」思想を広める一つの契機であつたことは間違いない。

なお健齋は、その後、「人間交際往来」を推敲して、書名も「**童人間交際論**」と改めた。ただし推敲は上巻部分のみで、下巻には殆んど手を入れていない。翻刻に当っては、上巻はこの推敲本に依拠した。

(明治五年正月)

壬申明治五年正月記

元旦、晴、寒醸微雪、家人早起、沿例調家禮者餅吸物、兎輩献寿杯、團欒、幕上看書排遣、夜丈八来話、云坂折旧穢多与野地平民間争、有傷者云、午後之事也、夜無事

二日、陰寒、閑無事、擁炉看書、小松生来話、為諸生講新著交際往来、凡三四名、有澤・森本二生亦訪、是日乞水菓於楠先生、旧臘念一併今日二壘也、坂折洵々未鎮撫、或云夜守坂折山

三日、暖始動、浴湯、礼弟来、命飯飲、丈八・龜六・網太亦来飲、話半日、稍覺快方、坂折騷擾事頻喧、或云借大砲二三於高村氏、又云坂折山中戒嚴、途塞不通往還、晚礼弟辞去、云近日遊東浦辺

四日、晴、無事、遣豚兎於久禮田、問水菓凝固之故、乃換易以被与、晚淡中生被訪、命飲話移晷、因托嘱健吉心事、借来日講紀聞医書淋疾部

五日、微陰、醸雪、夜来瀉下四五行、幕上讀日講紀聞、蘭医抱獨英氏於大坂医学学校所日講、為詳密、云淋為一異毒、蓋同痘毒等傳染、其本性不可詳知、大約為第五週或第六週、不假医力愈

六日、無事

七日、人日沿例嘗七種羹、無事

十九、晴

八日、晴、淡中生來訪

廿日、晴、乞藥

九日、雪、無事、荊婦抵高知、夜歸

廿一、風寒

十日、晴、寒山崎碩次來、受診

廿二日、陰寒

十一日、稍暖、乞藥楠氏、散劑卜ナル

廿三日

十二日

廿四日、釀雪、寒風最烈、村人曳石

十三日

念五、陰寒、是日曳石、女兒雜沓、書生來訪、無事

十四日

念六、陰寒、午後豚兒歸省、云念日火船發東京、念三達浪華、從神戶又乘蒸船、昨夜泊浦門、今朝達新地、家人皆驚喜其不意、隣曲來賀、夜命飲、一家團欒、情話始熟

十五

十六

念七、暖、無事、擁炉父子話東京事

十七

念八、寒、朝從戶長書來、云朝命宜早出京

十八、晴、二女用潮江江口妹適府

右者御用有之、早々出京致候様

奥宮周次郎

正月廿七日

第一区

縣廳

戸長中

廿九日、霜霽、稍暖、遣健吉於一宮、訪淡中坂本二生、縫兒婦、孝姪來訪、楠先生見訪、受診察、云可施注射、乃口授、直辭去、蓋一宮迎之歸途也、淡中生來訪、命飲、孝姪亦來會、是日稍覺淋痛

（明治五年二月）

二月分

朔日、稍暖、乞、水藥及注射劑於楠氏、午後親施注射器、介良野武市生見訪、云客冬歸自浪華學校、幕上看書排遣、夜團欒、話熟、兒頗說洋人話

二日、微陰、閑無事、二三回施注射、高橋新作見訪、云為產靈神社祀官、直辭去、是日点檢無用書籍及衣服、土神曳石出銅壺兩式分三朱六百錢云、家産拾式石三斗、每石出式朱式百五十文

三日、微雨、無事、田中敬作見訪、因約賣陽山茶室、伴權太伴來

四日、暖甚、豚兒適府、為訪伴生、是日初午、日比生來話、淺川生見訪

五日、暖如暮春、寒暖計殆六十、謙之赴試業、本山生來訪、又陽山下番益平來、囑茶室、乞藥楠氏、蒸劑三張、水藥一壺、夜豚兒婦

六日、夜來雨蕭々、豚兒季仲觀劇、日晡前地震稍久、夜疼痛

七日、晴、無事、午後豚兒適町医生、問予疾乞藥、潮江弟來訪、晚婦、夜施塗藥於肛門、覺稍忘痛、小震、付綱太於驢鞍橋三返淡中生

八日、晴、無事、諸生來、豚兒適一宮訪淡中生、談健兒事、又過坂本生囑金策

九日、晴、暖甚

十日、雨終日、無事、坂本生欲之備來過、話移刻去

十一日、新霽、豚兒之潮江及井口

十二日、晴、無事、骨董主來話刀劍等事

十三日、晴、無事、木村生來云、今日歸自備、拉親戚兒、松野生鑑刀劍

十四日、春陰、終日大雨、潮江弟來訪、田中生亦來、命飲、團欒為

十五日、新霽、風、無事

念二、寒、無事
費財要用
十二月十日

十六日、晴、豚兒適井口弘田氏、乞藥楠氏於吳田、晚無事、沽却画軸二品

一、壹分貳朱 天札
十二月九日
一、三分也 但油四升代
浦戸ウ小舟運賃
国久龜次江時借

十七日、薄陰、是日祖神祭、因招飲一家族隣曲、因撰祝詞、吉永生過云、発程遶阿州

同
一、同、油四升代
国久江頼置

十八日、暖甚、理行李、拮据勿々、弟来訪、与詣墓所、久不歩始登山、看桜花爛漫

九日
一、壹兩貳分貳朱 酒壹斗
藩札十三日
掛川街御用文

さりとともわか出て見れハ山桜 おそきもとくそ咲初ニける

一、貳分 鯨
一、壹兩 牛肉

十九日、春陰、無事、豚兒等往縣廳、木村氏伴来、被贈餞物、是日送行李二個三ツ川商社、價貳分宛云、龜六被返金三十兩壹兩壹分二朱

五月
一、壹兩 西森へ
一、五俵 式俵取、三俵未、式俵取事、壹俵スム 惠七
一、三俵 預り □□
三斗五升引、 八斗五升

念、霽、寒風烈々、諸生来訪、応接無違、無事

一、壹斗八升 上借シ
御藏

念一、薄陰、禮弟来携金七十餘圓、云旅費也、坂本生来談金策、云明日可齋来、乞藥於楠氏、散剂等数帖及感冒藥被投、今日行李拮据勿々

一、四斗也 時借、御藏拵

一、五升

一、貳斗

九十月比

一、五石

弘瀬

馬藏へカス

替七切手

委細忠三郎合点

廿七日

一、九両也 皆済

但七拾貳貫也 利七割之定

天札四両入、追而返ル スム

藤崎当網

十二月廿六日

一、壹メ四百匁 スム

メ百六十九メ〇七十壹匁

一、十九服

十服

藤崎

メ三拾服 六升七合五勺

六メ七百五十匁

二メ

八メ 七百五十匁

未年

三月

一、塗薬 一ヒン 殺虫散 二

八月廿一日ヨリ

一、散剂 十二 十五 十五 九 九 九 十一月廿日と六七

一、水薬 一ヒン 又一ヒン

九月大晦

煮薬 五 七 七 三 五 膏小一紙 霜月十六日とセン七五

十月二日健吉

一、散剂十五 十五 センヤリ七

十一月廿四日と二度 水薬一ピン 十二月七日一ヒン 十二月十二

日と散剂止水薬ノミヘカワル 一ヒン 町一ヒン 十二月廿一日一

ヒン

一剂 丑 丑 丑 丑 丑 一

十二月廿一日

一、四拾メ目也 店屋楠次、薪三百八十九メ、但壹メニ付八貫

也

貳拾四メ 払スム、十九メ三百匁

一、拾六メ貳百九十八匁也 諸品代

○未

一、米七斗六升七合 こんや百次

七拾六メ七百匁 □□百メ割

一、貳拾壹メ九百貳拾三匁

貳両貳分三朱ト四百二十三匁

一、拾貳メ貳百匁

五百五拾匁 附子人參代

家産

一、高拾貳石七斗三升也

拾石 反替

四石 大涌

貳石 布 馬藏

布師田分、十月十五日武平江頼
ミ、忠三郎へ頼ム

同 武平

四斗 弥八

メ八石四斗

壹石六斗也 未 定林寺定吾

貳石七斗三升 金渡ト云

右未申酉三年分許判済 野村方受取達

九月 (後補)「モトル」

一十兩也

原田へ時借

但壹割

壹兩九月分利受取

(後補)「十二月廿一日戻ル元利共」

一、十兩壹分貳朱 亀六□次

文五郎江

九月末

一、貳分天札 小畑江 本代ト云

小松信治へ時借

十月七日

一、五俵也

馬藏

メ貳石受取 スム

十月廿六日

一、壹石六斗

定林寺郷工物切
手 貞正へ渡ス
スム

十月廿七日朝

一、壹兩也

船頭駒次江

但此迄運賃之内渡

十一月六日

一、貳分

十一月五日

一、壹兩壹分

猪肉

霜月八日

一、五拾兩也 月六歩之割

但未十二月廿五日限之筈

三兩十一月分利受取 □一兩正

金□

霜月十二日頃於鶴

一、十兩也

呉服物代

十月末

一、三十兩

坂本へ

利八歩方壹割之筈

十月廿九日

一、天 十五兩

東京いさ馬江

□受取□□

一、壹両

健吉 牛肉

二月廿二日

十二月九日

一、二十一兩也

坂本^ら戻ル

一、貳石餘 家産十石之外

漢江頼 揃筈

メ九兩、先達而受取

三十兩貳朱余文札受取

三十兩元錢のミ受取、利八追々来筈

十二月十二日

一、十五兩貳分ト半

公塾江弘

覚 土宜類

一、十五兩二分ト半

陽貴山工物

但六斗七升七合也

同廿七日

一、二十兩受取

藤崎^ら受取

但元百兩 利八分筈

一、三兩

唐□壹丸

卅日

一、八十兩 元金

藤崎^ら受取

一、三兩壹分

帶

利八正月七日追二渡筈

一、式匁五分

白紙一丸

卅日

一、九兩也

坂本五一^ら受取

一、同

半切

但三十兩之内受取分、利八分^ら上ル由云、三ヶ月分

申正月^ら二月二日

詩箋

申正月廿五日朝

伸治

二日

久禮田楠

一、拾五兩也

伸治

一、水薬 一壘一

煎薬四合代

月五歩利、正月廿八日追之筈

伸治

正月^ら二月迄

散四度計

二月八日

武原^ら受取

百卅一帖

小栗謙造

一、四俵ト貳斗

武原^ら受取

メ五斗二升四合 代六兩三分ト六十文

皆済

武原^ら受取

水薬貳朱拾片

此金壹両壹分 十二月廿八日遣ス謙之

ノ八両ト壹朱

十二月十七日迄

一、散三十六帖

水十二日分

久禮田楠先生

右三十六帖代 四合掛

式斗八升八合

代式両三分式朱ト四百廿八文

但十二月十七日迄

合七十二服 四合掛リ

右十二月廿五日薬代遣ス 又謙之

一、駄荷四 大坂迄 式両壹分

伏見江二分

京江二分

三條大橋西ノ端古道具屋

二月七日頃

一、三両式分式朱ハ相持

ホリヤ米屋

松尾屋

二千万両 仏借錢

参考史料 訓童 人間交際論 (明治五年春)

(表紙)

「 高智縣 奥宮氏草稿本
初篇 草按」

(表紙裏)

「人志らぬ思ひをいつもするかなる ふしの山こそ我身なりけれ」

蒙 訓 人間交際論

第一章

明治五甲春起草

人間ハ、天神ヨリ、靈魂、氣力、性質、ノ三ツヲ賜ハリテ生レシ者ニテ、天地間動物中ノ最靈最奇ナルハ人ナリ故二人此三物ヲ以テ外物ノ性ニ應シ、能ク交際ノ道ヲ尽シ、幸ニワガ身命ヲ全クスルヲ、人間ノ一生涯ト云ナリ、

此本文ハ、英國人、「チャンブル」氏所レ撰ノ經濟書中、人間交際道ノ起原、風俗国法、及ヒ人民教育等ヲ説キシ、ソサイヤルエコノミト号スル部ニ出タルヲ、諸先輩ノ訳述セシニ拠テ、今之ヲ拔萃シ、注述スルモノニテ毫モ愚ガ妄説ヲ加フルモノニ非ズ、注述ニ至テハ、多クハ先輩ノ成説ニ拠ルト雖トモ、其間或ハ愚見ナキ能ス、一々甄別セザルハ、煩ヲ恐レテナリ、

〔天神〕此神体固ヨリ数多^{イフクマシ}在マスニアラス、唯一神ナリ、此神徳ニヨリ、天地、日月人物ヲハシメ、所有万物ハ、産出セシモノト見ヘタリ、国々ニヨリ傳ハ種々異同アレトモ、実ノ御物ハ、彼我ノ差別ナク、只是独一無二ナリト知ルベシ、^{我 皇國ニテ加美ト云、支那ニテ上帝ト云、西洋ニテゴットト云、}〔靈魂〕トハ不思議ノ魂性、即天神ノ御魂ト同一躰ニテ、之ヲ

分チ賜ハリテ、今日吾人具スル所ノ本心即是ナリ、皇國ノ古語ニ奇魂ト云、支那ニテ天命ノ性ト云、西洋ニテアニマト云、皆同一物、別ニ非ス（上欄、○我カ国神ハ別ナリ抔云ハ真ニ可笑ノ甚シキナリ、○此靈魂ハ人間ニ限リタルコトニテ禽獸ハ如何程賢コキモ靈魂アルコトナシ此說頗ル長シ、今略ス神魂問答ニ詳論ス）**氣力**トハ血氣ト体力ヲ併セテ云、**性質**トハ、人々ノ生付剛柔善惡等ノ差ヒ様々ナルヲ云、**外物之性**トハ我身ニ對スル人物ノ性質、各々差ヒアルヲ云、君、兄弟ト雖トモ我身ノ外ナレバ、外物ナリ、既ニ外物ナレハ君父ヲ始メ、各々性質ニ差ヒアリテ、必ス我カ注文通りニハナラヌモノ也、故ニソレ相應ニ、向フノ性質ニ從フテ、程能アヒシラウフヲ、**交際ノ通**ト云、故ニ親ニ程能交際スルヲ孝ト云、君ニ程能交際スルヲ忠ト云、ソレヨリ始メ、親戚他人ノ交際ヨリ、万事万變ニ應ジテ、程善ク其道ヲ尽スヲ云、夫レ人、コノ三物ノ力ヲ用ヒテ能ク交際ノ道ヲ尽シ、幸ヒニ我カ身命ヲ保全シ、首尾ヨク一生ヲ終ルヲ、人間ノ生涯トハ云ナリ、○首章人間交際ノ大綱ヲ括説ス、以下ハ順序ヲ逐テ、皆コレヲ演説スルノミ、

如斯外物ノ性ニ從ヒ、臨機應變ノ所置ヲ為シ、一朝ノ憂ナク、終身ノ患ナク、生涯ヲ暮スヲ、人間ノ幸福トハ稱スルナリ、然ルヲ人々或ハ妄ニ喜怒哀樂ノ情ニ逐ハレ、血氣口腹ノ慾ニ制セラレ、適宜程合ノ道ヲ知ラザルハ、豈ニ可惜ニアラズヤ、人ト生レシ甲斐ニハ、此適宜程合ニ心ヲ用ヒ、我ガ望ヲ達シ、我ガ好ヲ遂ゲ、各自ニ身分相應ノ満足ヲ求メタキモノナリ、是ヲ概シテ云ハバ、人ハ有為ノ造物ナリ、第二章

夫外物ノ性質ハ、親兄弟ト雖トモ、我カ心ト違ヒ、各々其持前アリテ、己レノ注文通りニナラヌモノ也、況ンヤ他人他物ヲヤ、各其性質ノ向キ々ニ隨テ、程善應接スベキナリ、心ト云モ即コノ意ナリ終身ノ患大ナルニテ、生涯ノ患害トナルモノナリ、人一生、過誤失策固ヨリ不レ少モノナリ、然レトモ善ク心ヲ用ヒ外物ノ性ニ逆ラハズ、処置スレバ、大抵ハ過失モ少キモノナリ、人ニ貧富アルハ、世ノ中ノ常態ニテ免カレ難ケレドモ、身分相應ニ**喜怒哀樂ノ情**、コレニ愛惡怨ノ三ヲ加ヘテ、人間ノ七情ト云、然レトモ愛ハ喜ニ包子、惡ハ怒ニ包子、怨ハ包子ザル所ナケレバ、四情ニテ人情ヲ包括ス、コノ四情ハ聖凡ニ限ラズ、無テ叶ハザルモノナレトモ、ヨク々々心持チ用心ナケレハ、多クハ役サズ、本心ノ主人カラ弱ク、却テコノ四情ノ奴僕ニ驅役サル、ヲ免カレサルナリ、就レ中怒ニ使ハル、様ハ常人ニテモ知レヨキナリ、**血氣口腹ノ慾**、コノ四情中ニテ、本心ヨリ来ラズ、血肉ヨリ起ルト、口腹ヨリ来ル慾ヲ云、或ハコレヲ肉慾ト訳ス、甚允当ナリ、是亦人生ノ必ス免カレ難キ肉慾ニテ、常人ハ動モスレバ、本心靈魂ノ力弱ク、肉慾情心ノ力強ク、之ガ為メニシキラレ、壓制セラレ、靈魂ヲ苦マシムルモノナリ、**適宜**、過不及ナキ恰好平均ノ処、俗ニ丁度ノ場合ト云規矩ナリ、中庸ノ中正、偏倚ナキ処、即吾人ノ本心ナリ、所謂心、曲尺是ナリ、是亦聖凡ニヨラズ、誰人モ皆具スルニテ、即チ天授ノ靈物ナリ、後人ハ動モスレバ高上玄妙ニ思ヒ過思ヒシテ、当下具足ノモノナルヲ知ラズ、生洋學生ハ、コノ辺ノ事ハ夢ニモ知ラズ、例ノ道學腐談トオモヘリ、皆不レ思フ甚クキ也夫喜怒哀樂、血氣口腹ノ慾情ニモ、亦皆夫々ノ條理適度アリテ、ヨク其適度ヲ得レバ之ヲ天理ト名付、モシ其條理適度ヲ失ハバ、之ヲ人慾ト名付、コノ差別亦実ニ毫厘ノミ、彼異端偏癖ノ学、人情ヲ強制シ、

所謂種性ヲ斷滅シ、男女飲食ヲモ慾也トテ、禁歎スル如キ無理ナル類ニ非ルナリ、**我望ヲ達シ我好ヲ遂** 人生誰レカ願望嗜好ナカラン、苟モコレナケレバ木石ナリ、身分相應ノ願好ヲバ遂ケ度ガ人ナリ、サレバ人間ト生レテハ、分相應ニ各々願好ヲ遂ゲ、各々満足ヲ求メ度モノナリ、孔子モ富而可レ求也雖^ニ執鞭之士^一、我將タ為^レ之ト云ハズヤ、若シソレ此ヲ嫌フハ、人情ニ戾リテ、異端偏僻ニ非レバ、或ハ偽物ナリ、**人ハ有為ノ造物** 造物主ノ物ヲ造出スハ、真ニ無欲無為ノ妙機ナリ、人間ハ嗜欲ヲ持^{モテ}ナガラ、ヨク物ヲ造ル權アルハ、造花ニシテ有為ナリ、彼古語二人ハ一個ノ小天地ト云稍相似テ、今一層活潑ナル云様ナリ、此意旨ヲ善ク會得スレバ、人間ノ人間タル能事ハ畢ルト知ルヘシ、○從來人間ハ靈活物ナレバ、喜怒哀樂ノ四情ニ、過不及出來ヤスク、或ハ喜ベハ喜ニ過ギ、怒レハ怒スギ、又或ハ怒ルベキモ得怒ラズ、喜フベキモ得喜ハザルアリ、如斯過不及ヲ免ガレザルハ、此四情ニ各慾着ノ意思アリテ、其力量忽チ過多ニナリ、ソレニ引キ着ケラル、ニ因ルナリ、其慾着ノ力ラニ引キ着ラルレバ本心ノ力量ソレ丈弱クナリテ之カ為メニ引キ倒サル、ナリ、此引カサレ引合フ処ノ、各自ニ平均恰好ヲ得ルヲ、性情ノ正ト云、血氣口腹ノ慾モ、相應本心ニ従フテ、満足平均スルナリ、今人色慾飲食等ニ惑溺シテ、全く本心ノ權力輕ミ、本性ヲ失ヒタルハ、人ニシテ人ニ非ズ、忽チ禽獸虫多^{ムシケラ}ノ類ニ陥ルナリ、豈可惜可悲ニアラズヤ、然ラバ適宜ニ心身ノ力ヲ用ヒ、相應ノ情願ヲ遂ゲ、生涯ヲ過スヲ、有為ノ造物ト云、夫人如斯真理ヲ知ラズシテ、徒ラ二人間ノ吉凶禍福ハ、天

ニ在テ、人力ニテ轉變スベキニ非ズト錯會^{トリチカヘ}シ、妄リニ天命ニ安ンズ抔ト、自分ズメニスメ切タルハ、大ナル間違ナリ、世俗之ヲ穀盜^{トク}ト云、仏氏之ヲ自然外道ト云、洋人コレヲ蛮野ノ自由ト云、余亦嘗謂、凡人ノ無慾ナルト、絶テ青雲ノ望ナシト云モノ、多クハ太懶惰穀盜ノ類ニテ、コノ種ノ人極メテ医シ難ク、又極メテ世情ヲ害スルコトアリ、

寒熱痛痒、風雨水火ノ如キ、人ニ害アルニ似タレトモ、却テ人ノ氣力、働ヲ励マス一大助ナリ、凡ソ我ニ得ルコトアラント欲スル者ハ、先ツ我カ心身ヲ勞セザルベカラズ、**人生勞セザレバ功ナシ**、第三章

人ノ世ニ処スルハ、譬ヘバ旅ニ在ルガ如シ、天時ノ風雨人事ノ變遷、種々思ヒ掛ナク、心ノ外ナルコト多シ、何時モ九月ノ定月夜、乾川晴天ト思ヘバ、大ニ当違^{アテテ}フモノナリ、**寒熱風雨** コレ亦天氣ノ常ニテ、寒熱ノ酷烈ニ当テハ、ナル丈廻避スルハ人情ノ常ナレトモ、是等亦天道ノ人ヲ鍛煉スル妙用也、故二人ニ害アルニ似テ却テ利アリ古語ニモ、風雨霜露莫^レ非教ト云ヘリ、是皆天ノ人ヲ愛スル至仁ニテ、人ノ氣力ヲ引立、其勉勵ヲ増ス助ケトナルト云ハ、真実不誑語ナリ、古今多少ノ英雄豪傑皆コノウチヨリ做シ来レリ、今三四月中和ノ氣候ニハ、人氣却テ弛ミ、又極暑極寒ニハ反テ人氣ハリ合アルニテモ知ルベシ、**痛痒** 痛痒等ハ病ニ属スルノモ、亦人ノ為メニテルコトアリ、凡人ハ或ハ無病ニテ、一生枕ヲ取ラヌナト云人ハ、多ク慈悲仁恕ノ心ナク、刻薄殘忍ナルモノナリ、俗諺ニ我身ヲツメツテ人ノ痛サヲ知レト云、大ニ道理

アル語ナリ、先ツ我が心身苦勞シ、骨折ヲ憚ルヘカラザルハ、古今万国皆尔リ、諺ニモ苦ハ樂ノ始メト云ヘリ、

抑々人世開闢ノ初ハ、文明未タ開ケズ、交際ノ道ヲ教ル者モナカリシナレトモ、人情ノ希望チカレシムスル所ト、人氣ノ赴ク所ニ随テ、誰定ムルト云コトモナク、知ラズ識ラズ人間交際ノ法ト云ヲ設テ、互ニ便利ヲ得、歲月ノ久遠ヲ経ルニ随フテ、其法キョウキ漫ク備ハリ、其法ノ中ヨリ、至要至当ナルヲ撰定シテ、終ニ一科ノ學術ト為リ、是ヲ交際ノ道、又經濟ノ學ト名付、之ヲ講習スルコトトナリタリ、今此法則果シテ至理至當毫モ變革スベカラザルヤ否ハ定メ難シト雖トモ、天下古今ノ実験ヲ経テ妨ケナキモノト云ベシ、第四章

人間開闢ノ最初ヲ想フニ、蠢々タル蟲多ノ野原ニワキ出タル如ク、口手相接スルノ俗、只水草ヲ逐フテ食ヲ求ムルヲ鮮スルノミ（上欄、按、人物初生各地各生而不必一二種族彼所謂一祖一孫之説恐不是矣）、固ヨリ人間交際ノ道ヲ教ユル者モナク、妄ニ強力ノモノ弱者ヲ虐ゲ、真ニ狗猫ノ如ク、所謂蠻野ノ風俗ナリ、**希望**人情ハ必斯ク仕度兎アリタキト、望ム心ナキ能ハザルモノナリ、然レハ其各自ニ其希ヒ望ム通リニスレバ必ス爭奪ヲ免ガレザレバ、於レ此人氣ノ自然赴ク所ニ随フテ、誰人ノ定メシトモナク、知ラズ識ラズ、交際ノ作法ト云モノ出来リ、世上相互ニ便利ヲ得タルハ、即チ人間礼義作法ノ權輿ト云ベシ、然ルニ其起原ヲ推シ究ムレバ、人心ニ彼天神ヨリ賜ハリタル、靈魂天性ノ規矩ニ基キテ（上欄、注○神道惣論之ヲ訳シテ心律ト云）人々内ニ省ミテ首肯スルモノアレバナリ、聖知ト雖トモ、固ヨリ此ヲステ、外ニ求

メ、妄ニ制作スルモノニ非ス、カノ道ハ聖人ノ知力ニテ制ス杯云ハ誤ナリ、扱其法則粗々定マリテ、又幾許ノ年所ヲ経歴スルウチ、其法制漸々善美ヲ尽シ、輿論ヲ採リテヤクヤ漫ク至当純粹ナルヲ撰著シ、終ニ一科ノ學術ト為ルニ至ル、支那ノ古ハ所謂經綸ノ王政道ヲ孔子ニ傳ハリシ大學問、亦コレト同一歟ナリ、後世支那ノ所謂經學ハ、稍々殊ナリ、此事學術根本論ニ詳ニ論ス、然ルニ義理定在ナク、所謂堯舜之上善無レ尽ノ道理ナレバ（上欄、○注、後儒動モスレハ一定不易ノ理ト云謬ナリ）即今行ハル、法則モ、真ニ妙理ヲ尽シテ、一字モ變革移易スベカラサルヤ否ハ、定メ云難シト雖トモ、大抵ハ世界万国、古今ノ沿革実験ヲ経テ、億兆人民ノ明許オホキ黙許スル公法ナリ。歐洲諸國ノ英傑所定ノ公法、皆人心具スル所ノ天則ニ基ツカザルモノナシ、万国公法、泰西國法論等ヲ參看スベシ、若夫或ハ此等ヲ外ニシテ、世人新タニ交際經濟ノ新法ヲ唱フルモノアリトモ、恐ラクハ皆其人自己ノ賢カクコダテヲナセシ私見ヨリ出テ、人々々自然ノ天則ニ適ハザレバ、必ス人情天理ニ背テ長クハ行ハレマジキナリ、或人云如今自己ノ聰明ヲ用ヒデカシダテノ愚存建白セシヨリ、若カズ歐洲文明ノ成法ヲ摸寫セシノ勝ルニハト、亦名言ト云ベシ、

人間ノ交際ハ、家族ヲ以テ根本トス、男女室ニ居ルハ、人ノ大倫ナリ、子生レテ弱冠ニ至ル迄、父母ノ膝下ニ養育ヲ受ルモ、亦普天下ノ通法ナリ、如レ斯夫婦親子團クルマダ一家ニ居ルモノヲ家族ト云、世ニ人情ノ厚ク交際ノ睦シキハ、家族ニ若クモノナシ、第五章

家族トハ、人一家内ノ親族ヲ云、人間交際道ノ起原ハ、一家ノ親族ヨリ出ツ、一家ノ親族ハ、男女夫婦ニ始ル、父子ノ源モ夫婦ヨリ出ツ、男女居室、人之大倫也ト云語、何國モ同一名言ニテ、所謂礼始ニ於夫婦一是ナリ、然ルニ人倫ヲ挙クルニ、父子君臣ヨ

リ始ルモノアルハ、言各当ル所アリテ立言ノ体殊ルノミ、**弱冠**、人子生レテ甘頃迄ハ、多クハ両親ノ膝下ニ養育セラレ、所謂親ニ係リナルハ、是亦何国モ一般ナリ、大凡人情ノ至親至厚ナルハ、夫婦親子**團欒**車座ニ同居シテ、睦シキ情アルニ若クモノナシ、是陰陽自然ノ妙理ニシテ人為ニ非レハ也、此ヨリ交際道ヲ始ラフゲ起ス、最モ親切ナリ、

一家族モ其子孫繁昌スレバ、一族ノ人種、幾多ニ蔓衍ひびくスルヲ知ラズ、今一國二千百ノ家族アリテ、其言語ヲ同フシ、其風俗ヲ共ニスルハ、元来一家族ノ繁殖セシモノナリ、固ヨリ一國人民ノ由來ヲ知ラントスルニハ、其探索甚タ難キコトナレトモ、大凡其体格ト、氣質トヲ觀レバ、其先祖ノ一家ナルコト察知スベシ、第六章

一國中数万ノ人民ハ、モト皆数多ノ家族群集シタルハ勿論ニテ、細カニ之ヲ吟味スレバ、幾種家族ノ分析セシモノト云コト迄モ、粗々知ラル、ナリ、俗諺ニ火吹竹ノ根ハ藪ニ在ト云如ク、其言語風俗同一ナルハ、原ト同一家族ノ分析セルニテ、國ニヨリ各々言語風俗ノ殊ナルハ、各種ノ家族各別ナル証拠也（上欄、○注、万人人種各自ニ別ナルヘシ、カノ洪水ノ時、ノアクノ子孫ノミ残リシト云ハ牽強ナリ、又万国ノ言語ヲ神ノ故サラニ殊ニセント云モ疑ナキ能ハス、併シ又言語風俗殊ナルモ、幼稚ノ時ヨリ遷住セシムレバ、大抵ハ同一様ニナルモノモアルナリ、又一國中ノ人民家族由緒、祖先ノ由テ出ル処ヲ知ラントスルモ、亦國ニヨリテハ強テ難シトセザルコトアルベシ、但多ク年所ノ久シキ國、又諸國雜処ノ國等ハ、其探索尤モ難カルベシ、骨格体貌氣質ト云モノ、大

概ハ国土ニヨルモノニテ、一定ナルベケレトモ、混雜シテハ知レカヌルモアルベシ、日本國中ナド、大抵其種類知ルベシ、其中所謂外國種支那、胡種、西洋種等アリハ、誰見テモ知ルト雖トモ、年歴久シキハ知レ難シ、從來我國ハ、姓氏ヲ重ンズル國風ニテ、韓戰密ノ時姓氏録ノ選アリ（上欄）後案、此一旦戰國ヲ経テ、大ニ混乱スト雖トモ、大抵ハ推知スベシ、事實難況ヤ 朝廷雲上ノ華族ヲヤ、先師嘗云、地氣ノ精英結テ人ト為スト、余亦云、人ハ一國ノ植物ナリ、故ニ土地風土ニヨリ、人物才性異同少カラズ近來洋人、人種ヲ移シ替ルヲ貴フト、此意ニ倣ヒ、日本中ノ人種ヲ移シ替度モノナリ、今英國ニ同種ヲ同地ニ殖スルヲ、「イヤジリ」トテ嫌フ、人モ或ハイヤジリニナリテハ、相モ替ルザル凡物ノミヲ生ズベシ、夫婦ノ配偶ハ、人ノ幸ヲ増シ、人ノ交ヲ厚クスル者ナリ、固ヨリ天ノ然ラシムル所ニテ、人力ニ非ズ、鳥獸ノ類子ヲ生ム時ハ、自カラ一時配偶ヲ定テ、共ニ其子ヲ養フト雖トモ、之ヲ養フテ既ニ成長スレバ、乃其配偶ヲ破テ、更ニ雌雄牝牡ノ定ナシ、人ノ子ハ初生ノ際、殊ニ薄弱ニシテ、其成長スルモ亦甚晩シ、此時ニ當テ、父母力ヲ合セ、心ヲ同シテ、之ヲ養育煦哺スルハ、即人ノ至情ナリ、且其子ノ薄弱ニシテ、成長ノ晚キ造物主ノ故サラニ意ヲ用ヒテ、人ノ配偶ヲ固クスルノ深旨ナルベシ、第七章

人間ニ限ラズ、万物草木ニ至ル迄、陰陽雌雄ナキモノナシ、其中二人ノ夫婦**配偶**ノ理ホト、深妙大事ナルハナシ、聖人尤モ配偶ノ礼ヲ重ンズル、良ニ故アルコト也、西洋人尤モ婦人ヲ重ンジ、配匹ノ婦人貴フハ大ニ深意アルコトナリ、知者ト云ベシ、抱妊人ト云難シ、人ノ幸福ヲ増シ、人ノ交際情誼ヲ厚クスルモ、夫婦和睦ニ若クハナシ、是固ヨリ 天神造花ノ神力妙用ニテ、更二人為ノ與カル所ニ非ズ、俗ニ出雲ノ大社、人ノ夫婦配偶ヲ司ルト云、蓋コレヲ云ナリ禽獸虫多ノ如キハ然ラズ、鳥獸ノ類子ヲ生ム寸ハ、一時定偶アリテ、更ラニ他ヲ犯サズ、亦他ノ犯ヲ容サザルガ如キハ、却テ人ヨリ正キニ似タレトモ、自ヅカ

ラ制セラル、処アリテ、自ヅカラモ知ラザルナリ、人ハ之ニ反シテ、情慾多キガ如キハ、却テ人ノ靈物タル所以ニテ、其情慾ノ過度ニ、其義不義ナルモ、実ハ自知スルモノアルハ、所謂有為ノ造物ナレバ也。此事別ニ詳カニ論セシ者アリ、畧ス。 扱鳥獸ハ、子ヲ生ム時こそ、一時ノ定偶ハアレドモ、已ニ子ヲ生テ後ハ、忽チ其定偶破壊シ、更ニ些ノ情思モナキガ如シ、況ヤ其礼際ヲヤ、唯鳥ノ定偶ナト云ヘル例ノ迂説云ニ足ラズ。 人ノ子ヲ生ズルハ、殊ニ成長モオソク、且初生ノ際、殊ニ薄弱ニテ、周旋尽力、多ク父母諸共コレヲ養育煦哺ハ撫愛ノ至ル意シ、千辛万苦実ニ諭フルニ物ナシ、如斯人ノ子ノ成長晩ク、世話多キハ、是乃天神ノ殊更ニ意思アリテ、然ラシムル処ニテ、此際ニ於テ人間夫婦ノ情好恩愛ノ至功ナルヲ自知自得セシムル為メナリ、

人其子ヲ養育シ、又之ヲ保護シ、其無病安全ヲ祈テ、子ノ為メニ働キ、子ノ為メニ苦勞シ、之ヲ導キ之ヲ教ルニハ、其煩シキコト限ナシト雖トモ、嘗テ之ヲ憚ルナク、子ニ對シテ少モ彼我ノ差別ナキハ、人ノ至情天理ノ公道也、凡ソ外物ニ交ルニ、人トシテ相競フノ心アラザル者ナシ、之ヲ私欲ト謂モ可也、然ルニ今家ニ入レバ、家族ノ間相競ヒ相争フノ痕跡ヲモ見ザルハ何ソヤ、思フニ造物主天神ノ深意ニテ、家族ノ睦シキ情合ヲ擴充シテ、四海ノ内ヲモ一家族ノ如クナラシメントスルノ趣意ナルベシ、抑々右ノ如ク家族ノ間、睦クシテ快キモノナレトモ、其大本ヲ尋レバ、畢竟夫婦相信シ相親シムノ情アルニ由ルコトナレバ、世ニ若シ配偶ノ道ナクバ、夫婦親子ノ情ヲ失テ、スル家族ノ幸ハナカルベシ、第八章
人ノ親ノ子ニ於ル、愛育保護至ラザルナキ者、知愚賢不肖ヲ論セ

ズ、何国モ同一人情ナリ、且子ノ為メニハ如何ナル苦勞煩難ヲモ憚ラズ、之ヲ教ヘコレヲ導キ、少モ恩ニキズ、彼我ノ差別ナキハ、実ニ人ノ至情天ノ大道ト云モノニテ、此ニ至テハ、古今モナク、華夷モナク、同一一般ナリ、蛮野ト、文明トニヨリ、此ニモ少々ノ差異ナキ能ハザルモノアリ、畢竟人ノ至情天ノ大道ニ非ルノミ、 然ルニ他人ニ交ル際ニ至テハ、如スコト能ハズ、必ズ彼我争競恩讐文明ノ情ナキ能ハズ、是乃人ノ私欲勝手ニテ、真味至情ニアラズト雖トモ、亦人情ノ必ズ免ガレザルモノナリ、今人家ニ入テ見レバ、家族ノ間、争競恩讐ノ意ナク、毫モ恩ニキセ合フ杯ノ痕跡ヲ見ズ、野人トニ、稀ニハコノ痕跡アル家ハ、実ニ水與ク醜ニ堪ヘザル也。 大率親和懇切ナルサマナルハ、即造物主天神ノ深意至妙ノアル処ニテ、斯ク一家族ノ親睦ナル真情至仁ヲ、普ク天下四海ニ擴充シテ、コノ擴充孟子毎々云トコロ、即孔氏大學黎矩ノ道トミ、 内チ一家族ヨリ、ホカ外万家族ニ推ヒロメ、敷キ及サシメントスル趣意ナルベシ、所謂明德於天下、又刑于寡妻、以御邦家ナト云ヘル、修齊治平ノ大序間即是也、後儒ハ多ク此意ヲ誤解ス。 然レバ則天下四海ヲ仁慈スル基本ハ、夫婦相信睦スル至情ニ由ルコトト知ルベシ、若シ或ハ人間ニコノ夫婦配偶ノ道ナクハ、人情忽チ乖戾暴横ニナリテ、家族ノ幸福モアルベカラズ、國中紛争ノ禍乱絶ヘザルベシ、サレバ人生ノ一大事、コノ義ニ超ルモノアルコトナシ、豈ニ夕ヒ思ヲ致サ、ルベケンヤ、余嘗謂、人慾ノ本体、即天理、人慾ヲ外ニシテ、天理ヲ求ムルハ、多ク枯槁ノ異端也、又夫婦男女ノ情好ハ、天理ナリ、人為ニ非ス、和漢古今詩歌ノ情モ、此ニ基クヲ見ルベシ、彼三百篇ノ國風、万葉ノ相聞等是也、猶別ニ云、

禽獸ハ、各其性ヲ異ニシテ人ト殊ナリ、或ハ群居ヲ好マズ、寂莫トシテ、独リ食ヲ求ムルアリ、或ハ友ヲ呼ビ群ヲ成シ、巢穴ヲ同クシ、餌食ヲ與ニスルアリ、人ハ、其天稟群居ヲ好ミ、彼此相交リ相助ケ、互ニ世ノ便利ヲ達スル、天性氣質ヲ具スル者ナリ、世人此理

ヲ知ラズ、独立孤行、世ヲ渡ラントスル者アリ、到底其身ノ幸福ヲ失ヒ、却テ世ノ害ヲ為スニ至ル、夫億兆ノ人民、其天性皆相同シキ故ニ、交際ノ道弘ク世ニ行ハレテ妨ナシト雖トモ、人々ノ氣質ニ至テハ、各々同ジカラズ、了簡モ亦各々自己ノ見込アリテ、必ズシモ一致シ難シ、故ニ其交際ヲ全セント欲セバ、相互ニ自由ヲ許シ、相互ニ堪忍シ、時トシテ我了簡ヲモ枉テ人ニ從ヒ、彼此相平均シテ、始テ恰好調和ノ親ミヲ存スベキナリ、第九章

人ト禽獸ノ殊ナルハ、只靈魂天性ノ有無ニアリ、禽獸ハ如何程賢コキモ、全ク此靈魂ヲ具スルモノナシ、偶々靈性アルニ似タルモノアレトモ、馴象ノ柔順ナル、牝馬ノ貞良ナル等、全ク人性ト殊也、彼支那理学ノ蜂蟻雁燕ナド、似ヨリタルヲ挙テ比擬スレトモ、理ニ当ラズ可笑也、故ニ人性ト禽獸性トハ、同ク論シ難シ、禽獸ノ或ハ独居ヲ喜ム、群聚ヲ好ム、各其性質ノ異ナルノミ、人ハ其天性皆群居同室ヲ好ミ、同類相憐ミ、彼我交通、互ニ相親睦スル、天倫物ナル故ニ、世ノ便利ヲ達スル、知識ヲ開發シ、随テ其業ヲ助クル器械奇巧ヲ發明スルモ、自ラ利シ他ノ用ヲ相為スモ、自ツカラ人心ニ具スル靈魂、人我一体ノ仁徳、然ラシムル処ニシテ、徒ラニ自私自利ニ忍ビザル天性アレバナリ、是即人間交際道ノ大起原ニテ、孤行独立介然一偏屈ヲ守ルモノハ、支那ノ上世ニ隱逸高士ト称スルモノ、亦一種偏癖ノ畸人是レノミ、後世ノ風流高尚ト号スルモノ、多クハ偽贗ナリ所謂七賢人ノ類到底天ノ幸福ヲ失ヒ、世道人心ヲ害スルヲ免ガレザルナリ、然ルニ此ニ一大事アリ、人ノ天神ヨリ受ケタル靈魂天性ハ、同一ニシテ殊ナラザレトモ、其氣質形体ニハ、千差万別ノ違ヒアリテ、人々ノ意見各々別ナルモノナレバ、必シモ同意一致シ難

ク、毎ニ各自ニ意地アリテ、相抗抵争競セザルヲ得ザルモノ也、古人モ人心之不同如其面ト云、各異ナルモ亦天稟ノ持前ナリ、安貧守節、人心不同、如其面、人心之不異、亦如其面ト、亦言也、蓋上一句ハ質ヲ云、下一句ハ性ヲ云ナリ、故ニ最初ニモ云如ク、外物ソレノ性ノ差ヒニ應シ、程能アシラフベキ所以ナリ、故ニ人間交際ノ道ヲ全セント欲セバ、相互ニカノ人間固有ノ自主自由云コトヲ許シ、相互ニ堪忍シアヒ、時トシテハ固ヨリ我カ意見見込ヲモ枉ケテ、人ノ意見ニ從ヒ、双方モテ合ヒニテ、彼此ノ力平均ニ帰スルヲ交際ノ全道人情ノ通義ト云、是カノ終身治心ノ学ノ工夫修練アル所以、今日有志ノ徒ハ、骨折講習スヘキ一大緊要ナリ、支那ニテハ、聖賢、千言万語世ニ貽ス教誡ハ、時ニヨリ千變万化スレトモ、其端宿頭腦ノ処ハ、只是此ニ外ナラサルノミ、洋人概シテ交際道ト云、最切近也、故ニ之ヲ一

治平ス、古詩ニ妻子好合、如鼓瑟琴、兄弟既翕、和樂且耽ト、コノ謂ナリ、天ヨリ既ニ人ニ生ヲ與フレバ、随テ其生ヲ保ツベキ才力ヲ與ヘザルナシ、然レトモ人若シ其才力ヲ活用スルニ当テ、心身ノ自主自由ノ権力ヲ許サレハ、才力俱ニ用ヲ為サズ、故ニ何国何等ノ人種ヲ問ハズ、人々其身体ヲ自由ニスルハ、天道ノ許シ與フル天則ナリ、即チ人ハ其人ノ人ニシテ、猶カノ天下ハ、天下ノ天下ナリト云シカ如シ、夫人間ト生ル、ヤ、毫モ束縛羈制セラル、コトナク、天ヨリ附與セラレタル、自主自由ノ權ト云ル通義ハ、固ヨリ売ルベカラズ、亦買フヘカラズ、人心ノ天理ニシテ私物ニ非ス、故ニ人売買スルヲアタハス、故ニ人トシテ其行ヲ正フシ、其為スベキ事業ヲ營求シ、他人ノ妨ヲ為スニ非レハ、国法ニ於テモ、其身ノ自由ヲ奪取ルコト能ハズ、其為ルニ任セザルヲ得ズ、

今給料ヲ受テ人ニ奉公スル者、或ハ其身不自由ナルニ似タレトモ、
 其実ハ然ラズ、奉公人ニテモ其ノ身体ハ其者ノ身体ニテ、煩勞ノ代
 リニハ、給料ヲ受ケテ一身ノ処置ヲ為スニ、他ヨリ之ヲ間然スル者
 アルコトナシ、假令ヒ暴主人ト雖トモ、漫ニ之ヲ妨クルヲ得ズ、此
 自由ハモト天ノ與フル所ニテ、国法ニ於テモ許ス処ナレバ也、是ヲ
 人民普通ノ自主自由ノ權ト云、第九章

今人ノ世ニ在ル、各其生命ヲ保全シ、各其才力活用シ、各身分相
 應ノ自由ヲ得ルヲ期スルノミ、如何ナル英才ニテモ、其才力ヲ活
 用スルニ当テ、束縛妨害セラル、所アリテ、心身ノ自由ヲ得ルニ
 アラザレハ、其才力俱ニ用ヲ為サズ、譬ヘバ龍ノ雲ヲ得ザルガ如
 シ、古亨英雄笑路ノ歌皆コレ也、併
 シ文明ノ世ニハナキコトナリ、自主自由ノ權トハ、人間ノ天ヨリ得テ、
 人ノ許ス自然ノ権力ナリ、自主自由トハ、身其主將トナリテ、自
 由自在ニ為スヲ得ルコトナリ、是モト靈魂天性ニ根サシテ、人々
 ニ各自ニ具ハリタル当前ノ権柄ニテ、固ヨリ放蕩恣肆ノ謂ニ非
 ズ、国法ノ許ス処、世人モ亦明許黙許スル所也、或ハ之ヲ誤解シ
 テ、放蕩恣肆、我侪ヲ為スコトト思フハ大ナル謬ナリ、訳者自若
 自得従容等ノ字ヲ当ツル義、以テ觀ルベシ、假令ハ子弟ノ課業ヲ
 了テ、自由ニ遊フコトヲ其師ヨリ許サンタルガ如ク、天ノ許シ人
 ノ容シヲ受テ、天下晴レタル自由自在也、苟モ後暗ク、靈魂ニ不
 気味ナル処アリテハ、自カラ慊^{アキ}タラズ、更ニ自若自得ト云ベカラ
 サルガ如シ、此事猶余カ靈魂天性自主
 自由ノ訳義ニ詳ニ論セリ、人ハ其人ノ人トハ、猶人間ハ、
 各々其人ノ自主自由ニアルベキ筈ノ身分ナリト云ンガ如シ、造語
 稍奇創ニテ、遽カニ読メバ解シ難シ、故ニ猶天下ハ天下ノ天下ニ

シテ、一人ノ天下ニ非スト云ンカ如シト解釈セリ、実ニ人間ノ生
 ル、ヤ、天然ノ貴重物ニテ、貴賤賢不肖ノ差ヒモナク、各々自主
 自由ノ分ニ於テ、誰ニモ差構^{サシカマ}ヒナク、天下晴レテ自在ノ権柄アル
 モノナリ、彼支那ニテ天下者、天下之天下ト云、又王侯將相、豈
 有種乎ト云ト相似タリ、是文化ノ国ノ名諺也、然ルヲ或ハ偏固ナ
 ル学士アリテ、ワガ皇国ハ不レ然、天下者実ニ一人之天下、而非
 天下之天下、又王公將相皆実有種ナト主張スルハ、如斯文明ノ世
 ニ在テハ、チト不都合ナルコトナリ、是畢竟例ノ門閥弊風、何ツ
 迄モ王公貴族ノ世權ヲ恣ニシ、下民ヲ愚ニスル、暴君汚吏ノ心匠
 私見ヨリ出シコトナルベシ、人情誰モく束縛羈制セラレ、牛馬
 ヲ驅役ナル、如キ虐使ハ、受ケヌモノナリ、故ニ文明一度開ケ初
 メテハ、所詮王公貴族ノ旧習仕癖ハ槌ノキケヌコトナリ、強テ
 抑ヘ付ントセバ、必ス民情沸騰シ、煽乱ノ本ヲ醸^{カモ}スル種子トナル
 ベシ、米國ノ英政ノ暴ニヨリテ、共和強
 立不羈ノ國トナリシコト可レ變、是故ニ天ヨリ付予セラレタル、自主
 自由ノ通義ハ、**売ルベカラス**、**亦買フヘカラス**、自己一家ノ秘藏
 至宝ナリ、今人アリ自ツカラ其行状ヲ正クシ、ワガ為スベキ当然
 ノ功利ヲ營求シ、他ノ妨害ヲ為サ、レバ、其身自由自在ナリト
 テ、假令暴君貪吏ト雖トモ、妄ニ其自由ヲ奪取ルコト能ハズ、況
 ヤ少シ開明ノ国ニ於テオヤ、又其身給料ヲ受ケテ、人ニ奉公スル
 下婢下男ハ、不自由ナルニ似タレトモ、其実ハ不レ然、奉公ノ煩
 勞ナル代リニハ、給料ヲモラフ也、コノ給料ヲ以テ、一身ノ衣服
 飲食ヲ自由ニスルトモ、盜野ノ俗ハ、衣食モ上下ノ定アリテ、
 下賤ハ好衣食スルヲ得ザル制度アリ、如何ナル暴主人
 トテモ、他ヲ間然咎ムルヲ得ザルガ如シ、是モ文明ノ未タ開ケザ

ル已前ハ、假令ヒ其力出来ルトモ、下賤ハ自由ヲサセス、不自由
 苦惱スルモノト一定シタル虐政ノ下ニ、無拠屈伏セシナリ、是豈
 民ノ為メニ立ル政府ノ景況ナランヤ、故ニ世文明ニ赴キ、下民中
 ニ苟モ知識開ケタラハ、妄制無法ノ政府下ニ居テハ、必ズ憤鬱不
 平ヲ懷キ、誰云合ストモナク、銘々民心ニ、コノ人間天授ノ自由
 ヲ得ント謀ルモノ出来ルベシ、然ラバ開明ヲ塞キ、自由ヲ妨クル
 妄制度ハ、何ノコトモナク、下民ニ野心ヲ勸ムル仕拵ナリ、吁嗟
 豈寒心セザルベケンヤ、

天下ノ為メニ大法ヲ立ル者ハ、人民ヲ平等一視スベシ、小兒ト云、
 大人ト云、乞兒ト云、富豪ト云モ、其生命ノ貴ハ同一也、豈妄ニ一
 命ヲ乞フベケンヤ、今貧兒乞丐ノ一弊衣ト雖トモ、法ヲ以テ之ヲ護
 ルニ至テハ、諸侯ノ領地ニヒトシ、執力之ガ輕重ヲ為サン、人ノ一
 身ヲ進退シ、各活計ノ道ヲ択ヒ、互ニ遊樂ノ趣ヲ異ニスルモ、各其
 人ノ意ニ任シテ、他ヨリ之ヲ妨グベカラズ、人ノ天稟自ツカラ身ヲ
 重ンジ、身ヲ愛セサル者ナシ、是固ヨリ造物主ノ深意ニ出レバ、
 人々此天性ヲ遂ゲシメザルベカラズ、即万国同一人情ノ通義ニテ、
 愚夫愚婦モ生レナガラ知ル所ナリ、然ルニ人ニハ才不才アリ、時ニ
 遇不遇アリテ、同一人類ト雖トモ、自然ニ貴賤貧富、知愚強弱ノ差
 ヒナキ能ハズ、其差ヒニ至テハ、雲泥懸隔シテ、其形モトヨリ同ジ
 カラザレトモ、其実ニ就テヨク之ヲ視レバ、是亦其生命ヲ存シ、
 各自由ヲ求メ、身ヲ重ンジ自物ヲ保有スル通義ハ、皆同一一般ナリ、
 第十章

文明ヲ進メ智識ヲ開クニハ、先ツ天下ノ為メニ、善美ヲ尽セシ大

法ヲ立テザルベカラズ、苟モコノ大法立タザレハ、万民法ルベキ
 規矩ナク、智識開クルニ從フテ、亦云ベカラザル弊害生ズベシ、
 智識ノ弊ハ、人ヲ愚ニシテ已ヲ知ニシ、苟モ
 自利ヲノミ營求シ、己ヲ立テ人ヲ倒ス等也、此法律立ツ寸ハ、門閥貴賤モ其暴橫
 ヲ肆ニスルコト能ハズ、所謂民ノ為メニ政府ヲ立ルニテ、政府ノ
 為メニ民アルニ非ズ、是其人必ス心術眼光尤モ宏大ニシテ、人民
 ヲ平等一視スルニ非レバ能ハズ、所謂視天下如家、視國中如一人
 ノ人ナリ、凡ソ人ト生レタル者、生命ヨリ貴キハナシ、今貧兒乞
 丐ノ徒ト雖トモ、妄ニ命ヲ売ルモノナシ、命ハ勿論一弊衣ト雖ト
 モ、妄ニ褌取ルコトヲ許サズ、是貧兒乞丐ノ弊衣ト雖トモ、法ヲ
 以テ護レバ、諸侯ノ領地ト同シキ所以ナリ、由レ之テコレヲ觀レ
 バ、今政府世ヲ經濟スル、人々身ノ進退活計ヨリ、各遊樂等ニ至
 ル迄、ソレノ分相應ニ均一平等ニ頒チ與ヘ、各自ニ自主自由ヲ
 許サシメザルベカラズ、即所謂不忍於人ノ心有ツテ、斯ニ不忍人
 ノ政有ル所以也、世上ニハ強弱貧富ノ差ナキ能ハザレバ、制法立
 サレハ、忽チ強者弱ヲ虐シ、富者貧者ヲ呑ムノ弊害ニ堪ヘサル
 故、善美ノ制度ヲ施設シ、コレヲ豫防セザルベカラズ、是在上人
 ノ天職當務ナリ、不文明ノ国ニハ、暴君汚吏營ニ此天職ヲ尽サ、
 ルノミナラズ、剩サヘ天物ヲ暴殄スルヲ免カレズ、豈不仁ノ甚キ
 ナラズヤ、夫人ノ心身ヲ愛重スル、即造物ノ深意ニテ、人為ニ非
 ズ、人各其生命ヲ愛惜スルノ切ナル、万物ヨリ甚シキハ、即亦其
 最靈ナル所以ナリ、然レトモ若シ其義ニ當テハ、其愛惜スル生命
 ヲモ、棄ルヲ愉快トスルコトアルハ、人ノ人タル靈処ニテ、苟モ
 コノ心ナケレバ、人ニ似テ人ニ非ルナリ、鄒翁ノ所謂所レ欲有レ

甚^ニ於生^一者ト是ナリ、先師亦嘗云、凡生物皆怕^レ死、人其靈也、此情亦應^レ甚^ニ於物^一、然人須^下從^二怕^レ死裏^一、扱^中出不^レ怕^レ死之理^上トコノ義亦知ラザルベカラズ、然ルニ是修身学者ノ最上乘ニ属ス、泛々尋常人民ニ責ムベキニ非ズ、

人各其通義ヲ逞フシテ、天性ヲ束縛スルコトナケレバ、又從テ其職分ヲ勤メザルベカラズ、之ヲ譬フルニ、家業ヲ営テ運上ヲ納ル、ガ如シ、自ツカラ衣服ヲ求メ、又家族ノ為メニ之ヲ給シテ、他人ノ煩ヲ為サ、ル様ニ心掛ルハ、人タル者ノ職分ナリ、世ニ法律有テ、我身体ヲ保チ、我通義ヲ達スルヲ得ルガ故ニ、小心翼翼以テ、其法律ヲ尊敬セザルベカラズ、是亦人タル者ノ職分也、若シ人トシテ自ツカラ衣食住ヲ給スル道ヲ知ラズシテ、他人ノ煩ヲ為シ、徒ニ我自由ヲ求メ、我通義ヲ達セントスルハ、即人ノ切テ盗ム也、如斯シテハ天下一日モ交際ノ道存スベカラズ、亦世人法律ヲ頼^ケニシテ、我身ノ守護ヲ求メ、從テ又此法律ヲ破リ、我求ムル所ヲ求メテ、我守ルベキヲ守ラザル者多キ寸ハ、天下一日モ法ノ行ハル、コトナク、人間交際ノ道地ヲ払テ廢スベシ、第十一章

夫法律ヲ設クルハ、固ヨリ人ヲシテ束縛苦使スル為メニ非ズ、人々各身体ヲ保チ、通義ヲ達シ、其天性ヲ束縛セザラシムル為メノ防禦ナレバ、人々皆敬テ遵奉セザルベカラザルハ国ノ法律ナリ、故二人々自由ニシテ束縛スルコトナケレバ、又ソレ丈其職分ヲ勉メ子バナラヌ理ナリ、猶カノ家業繁昌スレバ、ソレ丈運上金ヲ納ムル員増^マザルベカラサルガコトシ、人々自分ノ衣食ヲ求メ、又其妻子家族ノ為メニ之ヲ給シ、他人ノ迷惑ヲ掛ケザル様心掛ル

ガ、人タルモノ、職分也、政府ノ法律ヲ設クルハ、只是人々ヲシテ快ヨクコレヲ為サシメンガ為メナリ、故ニ束縛ナシトテ放恣ニスレバ、亦大ニ法律ニ背キ、且ツ人ノ通義ヲ逞フスルコトモ得ザル也、然ルヲ人モシ徒ニ我が自由自便ヲノミ求メ、他人ヲ迷惑サセ、人ノ功ヲ盜ミ、人ニ骨折ラセ、独ヨキコトヲセント謀ルハ、

法律モナキ蛮野ノ弊習ナリ、如斯ニシテハ天下一日モ交際ノ道立ラベカラズ、世人或ハ又国家ノ法律ヲ頼テ、コレヲ藉^ツテ我身ノ守護ヲ求メ、又從テ其法律ヲ破リ、我が求ル所ヲ求メテ、我カ守ルベキヲ守ラザル無頼者多キ寸ハ、世界ニ一日モ法律ノ行ハル、ト云コトアルベカラズ、人間交際ノ道モ地ヲ払テ廢絶スベシ、

人間交際ノ大本ヲ云ハハ、自由不羈ノ人民相集テ、カヲ役シ心ヲ勞シ、各其功ニ從テ其報ヲ得、世間一般ノ為メニ設ケシ制度ヲ守ルコトナリ、然レトモ之ヲ实地ニ施スニ当テハ、衆人ノ中ニハ、薄弱多病、自カラ衣食ヲ給スルコト能ハズシテ、他人ノ扶助ヲ仰ク者アリ、是天性ノ不幸ナルガ故ニ、他ヨリ之ヲ扶助スルハ、康健無事ノ人ノ職分ニテ、其法或ハ人々ノ志ニ從テ、衣食ヲ與ルコトアリ、或ハ窮ヲ救フノ法則ヲ設ルコトアリ、固ヨリ死生不定ノ人身ニ通ルベカラザル不幸ナレハ、之ヲ助ルハ、即造物主ノ趣旨ナリ、故ニ薄弱多病ニテ、他ノ扶助ヲ蒙ルトモ、其本人ニ於テ、聊^イカ之ヲ耻ルノ理ナシ、又身体康健ニシテ行正シキ者、心力ヲ勞セント欲スレトモ、一時ノ故障ニ妨ケラレテ、意ノ如クナラザルコトアリ、是亦相互ニ扶助セザルベカラズ、第十二章

右ハ人ノ薄命不幸ヲ処置スル法ナレトモ、本来人間ノ大義ヲ論ス

レバ、人々互ニ便利ヲ謀テ一般ノ為メニ勤勞シ、義氣ヲ守リ廉節ヲ知り、勞スレバ從フテ其報ヲ得、不羈獨立以テ世ニ処シ、始テ交際ノ道ヲ全クスベキ也、

凡人世ノ交際ハサマ／＼ナレトモ概シテ之ヲ云ヘバ、各不羈獨立ノ人相集テ、心力ヲ勞シ、各世ノ為メ人ノ為メニ、功ヲ立テ、其功ニヨリ、各自ニ其値報ヲ得テ、衣食住ヲ營ニ、世ノ為メニ設ケシ制度ヲ守ルヨリ、外ニ務ムル事ハナキモノナリ、然ルニ衆人ノ内薄命多病困窮ノ民、自ツカラ衣食ヲ給スル能ハズシテ、抱ナク他人ノ扶助ヲ受ケ、厄介ニアハザルコト能ハザル者アリ、是天性ノ窮民故、他ヨリ扶助スルハ、是亦富有康健人ノ天性職分ナリ、政府ノ救助ハ勿論、政外ノ人モ是ヲ見棄サ
ルハ、靈魂ニ不忍天心ニテ、即仁心ナリ其法或ハ人々ノ志次第ニ隨テ、或ハ衣食ヲ與フルモアリ、又云合セテ教育法ヲ設クルアリ、是等ノ不幸誰身ノ上ニ廻リ來ルコトモ凶ラレズ、人間ニ遁レザル災難ナレバ、之ヲ助クルハ、即亦人々天神ヨリ賜ハリシ靈魂ヘノ奉公ニテ、造物主ノ趣旨ニ叶フテ、幸福アルベシ、故ニ斯ル人他ノ扶助ヲ蒙ルトモ、聊カ耻ル理ナシ、又世ニ或ハ身体健カニ、行ヒ正キ人、心力ヲ勞シテ働カントスレトモ、一時ノ故障ニ妨ケラレ、意ノ如クナラザルコトアリ、是亦相互ニ扶助セザルベカラズ、所謂英雄
數奇ニテ、一時失意困窮ニ
堪ヘザル才士アリ、可憐也、

ル仁慈ナレバ、良政府ノ有司ハ、必ス此教育法ヲ建置スルハ勿論ニテ、固ヨリソレ丈ケノ入費税法モ亦採ラザルヲ得ズ、無官ノ地下人ト雖トモ、苟モ義氣廉節ヲ知ル有志ハ、亦必ス此ニ注心着意シテ、各自ニ分相應ノ救助ナカルベカラズ、苟モコノ救助ニ心力

ヲ勞スレバ、人亦從フテ其功ヲ賞シ、其勞ニ報ヒサルナシ、其報恩ノ物ヲ受ルモ、亦辭スベキニ非ス、其仁声仁聞モ、亦從フテ高ク人亦コレニ懷ク、是実ニ人間交際道ノ全キナリ、是亦富ヲ為テ併セテ仁ヲ為スノ道ノミ、或ハ人ヲ救フテ、其報ヲ得ルヲ恥ラリ、高義ハ則高義ナレトモ、人ニ普通ノ道ニ非ス、況ヤ故意ニ名ヲ避ケ跡ヲ晦サントスルハ、世上一般ノ大法ニ非ス、必シモ辭避スベカラズ、
師翁嘗云、有心於求名固非、而有心於避名亦非也、

前條ノ議論ヲ、尚又明カニ了解セント欲スレハ、人々自ツカラ願テ、我一身モ亦猶他人ノ如ク、心力ヲ勞シテ、世ニ存スルヲ得ルモノト思フベシ、然ルニ今懶惰無為ニシテ、世ヲ渡ラントスルハ、即他人ヲシテ一倍ノ勞ヲ為サシメ、竊カニ其功ヲ盜ムニアラズヤ、故二人トシテ義氣廉節ヲ知ラバ、懶惰ヲ以テ自カラ安スベカラズ、又或ハ人ノ言ニ、我自カラ勞役セント欲スレトモ、其機會ヲ得ズト云者アリ、然レトモ其實ヲ論スレハ、是亦遁辭ナリ、許スベカラズ、凡ソ人間ノ交ニ、兄弟朋友ニ非サルノ外ハ、人ノ為メニ周旋シテ其活計ヲ得セシムル者ナシ、加之人ノ活計ハ、臨機應變、預メ期スベカラズ、躬カラ其職業ヲ求テ、始テ安心ノ地位ヲ得ベキナリ、故ニ人間交際ノ道ヲ全クセンニハ、懶惰ヲ制シテ之ヲ止メザルベカラズ、或ハ之ヲ罰スルモ、亦仁術ト云ベシ、第十三章

此レ人心ノ天性ニ本ツキ、彼我ヲ融通シテ、一視同仁スル説也、苟モ之ヲ明白ニ會得スレバ、今日ノ活計、人間ノ交際ハ畢ル也、今懶惰無為ニシテ渡世セントスル寸ハ、必他人ニソレ丈一倍ノ勞ヲ為サシメ、己レ独り窃ニ其他功ヲ盜マザレハ出来ザル也、是遊手浮食ノ殺盜人ニテ、義氣廉節ト云ヲ知ラザル無頼者ナリ、故ニ人トシテ交際活計ノ上ニ於テ、義氣廉節ヲ知レハ、必ス懶惰シテ

自カラ儉安スベカラズ、従前支那學風ノ文人詩客ナト稱スル輩ニ、此流多シ、高商風流ト号スレトモ、其実ハ懶惰盛ナリ又或ハ其中ニ随分勞役セント欲スレトモ、機會ヲ得スト云モノアルモ、多クハ遁辞ナリ、中ニハ其二薄命ニシテ、人ノ妨ヲ以テ、無把握會ヲ得ザル者モアリ又或ハ我清貧ニ安シスト云モノ、多クハ求富ノ術ヲ知ラズ、知識未タ開ケズ、世ニ多キ活計術ヲ知ラザルニ坐スル也、必ス真ニ貧ヲ甘ニスル賢者ニ非ズ、多クハ贗物ナリ、宋ノ横渠張氏亦コノ説アリソレ人ノ為メニ、今日活計生産道ニ本カシムル、周旋尽力スル者、兄弟親戚カ、入魂ナル朋友ニ非レハ、肯テ之ヲ為スモノナシ、今日銘々ノ活計生産ヲ營求スルハ、自カラ心力ヲ勞役セサレハ、聊カノ生産渡世モ出来ルモノニ非ズ、然レバ自分ノ不料簡ニテ、懶惰苟安スル者ハ、良政府ノ下ニ処シ難キノミナラズ、人間ノ交際出来ザルナリ、故ニ専ラ之ヲ制シ之ヲ禁シ、コレヲ詮議シテ、如斯輩ハ罰極スルモ、世道人心ノ為メナリ、所謂仁者能惡人ニテ、亦仁術ト云ベシ、

人々實際ノ道ヲ存セント欲セバ、各々其德行ヲ修メ、法令ヲ守ラザルベカラズ、野鄙固陋ノ風習ヲ脱シ、禮儀文明ノ世ニ居ルハ、人ノ欲スル所ナリ、苟モ之ヲ欲セバ、人々徳ヲ修メ法ヲ守リ、世ノ文化ヲ助ケザルベカラズ、若不_レ然シテ世ノ風俗ヲ害スル者ハ、其罪己ノ身ヲ懶惰ニシテ、他人ノ助ヲ奪フ者ニ等シキ故、之ヲ罰シテ後害ヲ妨ガザルベカラズ、其法或ハ衆論ニ從テ之ヲ罰スルアリ、或ハ裁判所ヲ設ケテ、之カ罪ヲ決断スルアリ、第十四章

人々各々修徳守法、互ヒニ文化ヲ助クルハ、徒ラニ己ノ身ノ為メニアラズ、即人ノ為メ世ノ為メナリ、故ニ之ヲ賞スルハ、国ノ常典也、若又不然シテ、徳ヲ修メズ法ヲ守ラス、文明ヲ妨クル者

ハ、徒ニ己ノ身ノ損害ノミナラズ、大ニ世道人心ノ害ナリ、必罰シテ許スナカレ、所謂政府ノ賞罰ハ、只コレ之ヲ賞罰スルノミ、文明ノ眼ヲ以テ之ヲ觀レバ、諸法ノ内或ハ人ニ不便ニ似タルコトアリトモ、既ニ其國ノ制度トナリテ行ハル、問ハ、之ヲ守ラザルベカラズ、若シ暴行ヲ恣ニシテ、此法ヲ破ル者アラバ、世ノ害ヲ為ス亦甚大ナリ、凡國法ノ趣旨ハ、人ノ通義ヲ達シ、人ノ生命ヲ保チ、各業ヲ營ミ身ヲ安ンゼシムル為メノ大本ナレバ、之ヲ蔑視シテ畏レザル者ハ、自カラ其愚ヲ表スルニ等シ、若又事実不便ノ法アラバ、國議ニ由テ穩ニ之ヲ改正シ、其弊ヲ除テ妨ナキコトナリ、第十五章

既ニ國家ノ申令法憲トナリタル已上ハ、妄ニ之ヲ犯スハ罪人也、如何ニ文明ノ眼力ナリトモ、之ヲ犯シ之ヲ破ラバ、暴行也、其身ノ罪咎ハ勿論、世ノ為メ大害ヲ引出ス也、近年暴行生過激徒ナトノ所為、皆コレナリ況ヤコレヲ蔑視シテ、世法ヲ畏レザルヲ、猛キコトニ思フナドハ、実ニ笑止千萬ニテ、自カラ其愚ヲ表スルニ足ルノミ、若シ又法憲申令ニ事実不便、民害ヲ為スコトアラバ、衆議院アラバ之ニ便リテ議セシメ、事穩カニ之ヲ改正シ、其弊ヲ釐革シテ可ナリ、何ソ輕率妄動シテ、政府官吏ト相仇視シ、事ヲ濟スノ道アランヤ、是等尤モ処世ノ道、交際ノ肝要ナリ知ラザルベカラズ、

歴史ヲ察スルニ、人生ノ始、開闢ノ太古ハ、何國モ莽味ニシテ、漸々文明開化ニ赴キシモノナリ、莽味不文ノ世ハ、礼義ノ道未タ開ケズ、人々自ツカラ血氣ヲ制シ情慾ヲ抑エル能ハズ、大ハ小ヲ犯シ、強ハ弱ヲ虐シ、配偶ノ婦人ヲ視ル、奴婢ノ如ク、親ノ子ヲ御スル、無道ヲ以テスレトモ、制スル者ナシ、且世間相信スルノ意薄

ク、交際ノ道甚タ狭シ、故ニ制ヲ立テ一般ノ為メニ、利益ヲ謀ル能ハズ、世ノ文明ニ赴クニ從テ、此風俗次第ニ止ミ、礼義ヲ重ンジ、情慾ヲ制シ、小ハ大ニ助ケラレ、弱ハ強ニ護セラレテ、人々相信シ、独リ其私ヲ顧ミズ、世間一般ノ為メニ謀ルモノ多キニ至レリ、第十六章

世ノ草昧未タ開ケザル太古ハ、何方モ同様ニ礼義モ未タ立タズ、所謂直情径行、血氣情慾ヲ制シ忍フト云コトナク、有度マ、仕度^{シツキ}俛ナレバ、弱ハ強ノ食ト云如ク、大ハ小ヲ吞ミ、強ハ弱ヲ虐シ、己ガ妻子ヲモ惨刻ニ虐使シ、無道兇暴ナルモ、誰レ制スルモノナク、只其中ニ稍智力威勢ノ強キ者、自ヅカラ大頭領トナル、所謂蛮野ノ風俗也、世間交際ノ道、礼義人情ト云コトナク、ツキ合トグ井ト云コトナシ、故二人々相信相愛相融通シテ、世上一同ノ利益ヲ謀ルト云コト出来ズ、頗ル隘陋固癖偏屈ナルモノナリ、然ルニ文明ノ開クルニ從テ、此風漸々止ミ、礼義ヲ重シ、情慾ヲ制シ、小ハ大ニ助ケラレ、弱ハ強ニ護ラレテ、人々相信愛融通シ、廣ク世間一般ノ利益ヲ謀リ、一己ノ私ヲ顧ミズ、随フテ器械奇巧ノ細工ヲモ發明スルニ至レリ、

或人以為ラク、上古蛮野ノ人、水草ヲ逐フテ処ヲ移スニ、其出処進退ヲ妨クル者ナカリシニ、人間交際ノ道世ニ行ハレテヨリ、或ハ却テ人ノ性情ヲ矯ルコトアレバ、人生最モ大自由ナルハ、蛮野ノ世ニ如クハナシト、是一ヲ知テ其ニヲ知ラザル論ナリ、蛮野ノ世ニ行ハル、自由ト云ハ、恰モ人ヲシテ餓死セシムル自由ナリ、力ヲ以テ暴虐ヲ恣ニスルノ自由ナリ、罪ヲ犯シテ罰ヲ蒙ラザルノ自由ナリ、豈

コレヲ真ノ自由ト云ベケンヤ、文明ノ開クルニ從テ、法ヲ設ケ世間一般ニコレヲ施シテコソ、始テ真ノ自由ノ世ト云ベケレ、第十七章又或人ノ説ニ、蛮野ハ天然也、文明ハ人爲也ト、是亦字義ヲ誤解シタル論ナリ、文明ノ世ニ行ハル、事物ハ、一トシテ天然ニ出テザルモノナシ、世ノ開化ヲ進メ、法則ヲ設クルハ、其法寛ナレトモ、之ヲ犯スモノナク、人々力ニ制セラレスシテ、心ニ制セラル、ハ、文明ノ効ナリ、即人生天稟ノ至仁ナリ、之ヲ人爲ト云ベカラズ、固ヨリ太古草昧ノ時ニ當テハ、其風俗自然ニ出ルモノモ亦多カルベシト雖トモ、今其風俗ニ止テ更ニ進マサルハ、必ス外物ノ故障アリテ、然ラシムルコトナレバ、却テ之ヲ人爲ト云ベシ、其一証ヲ拳テ云ニ、野鄙草昧ノ人ハ、衣食住共ニ不潔ニシテ、文化ノ世ノ人ハ清潔ナリ、今人トシテ汚穢ヲ好テ清潔ヲ惡ム者アランヤ、サスレハ野鄙草昧ノ人ノ不潔不清ナルハ、未タ其人ノ天性ヲ伸ルコト能ハザルモノニシテ、之ヲ譬ヘバ初生ノ小兒ニ未タ才力ノ發生ヲ見ザルガ如シ、第十七章

從來人生ノ自由ト云ハ、必シモ放肆自便スルノ謂ニ非ズ、亦固ヨリ拘束窮屈ナル謂ニ非ズ、只其天分ノ俛ヲ拘束セズ、自由ニ伸ベシムル義也、コレヲ誤解スルモノ多シ、即文明ノ開ケザル論ナリ、是ヲ以テ上古蛮野ノ自便安逸ナル俗ヲ認テ、天然自由ト思ヒ錯マリ、却テ莽昧不明ノ太古野風ヲ羨ミ慕フナリ、カノ老莊ナトノ故意ニ太古ヲ尚フハ、世ヲ矯メ弊ヲ救フテ、所謂矯枉過直ノ激論ナリ、是所謂其一ヲ知テ其ニヲ知ラザル所以ナリ、人ヲシテ餓死セシムル自由^{死セシムル自由}是過激ノ語ニ似テ然ラス、實ニ如斯懶惰偷安ニ

シテ自恣ニ暮セハ、遂ニハ必ス餓死スルヨリ外仕方ナキ也、**力ヲ**
以テ暴虐ヲ恣ニスル自由 戦国横行ノ世界、実ニ猛獸ノ貪饕暴逆
 ヲ恣ニスルガ如ク、各自ニ其猛威勇力ヲ恃ミテ我俣ヲ働キ、弱ヲ
 虐ケ人ヲ殺シ財ヲ奪ヒ、真ニ盜賊ノ為ノミ、力ノ切取豪盜武士ノ
 習ナト云惡諺ノ由テ起ル所以ナリ、是即罪ヲ犯シテ罰ヲ蒙ルコト
 ナキノ自由ナリ、夫人トシテ罪ヲ犯シ、不義ヲ行ヒ、不辜ヲ殺シ
 テ毫毛不氣味ナラヌモノアランヤ、故ニ罪ヲ犯セバ相應其丈ケノ
 刑法アルベキハ、文明良政府ノサマナリ、人亦相当ノ罪ヲ蒙リテ
 始メテ安堵スベキハ、本心靈魂ノアル証拠ナリ、或蒙刑ニ臨テ此ニテ、始
 メテ安セシト云シトゾ
 世文明ニナルニ從フテ、適當ノ法律ヲ設ケ、始メテ其自由ノ世界
 ト称スベキノミ、又或説ノ如ク、蛮野ハ天然、文明ハ人為ト云
 ハ、徒ニ誤解ノミナラズ、大ニ世道ヲ害スル説ニテ、明弁セザル
 ベカラズ、世ノ所謂慕古先生多ク此等ノ説ニ誤ラル、ヲ免ガレ
 ズ、固ヨリ太古草昧ノ時ハ、風氣未タ開ケズ、其風俗素朴、自カ
 ラ天然ニ出ル方多ニ居ルト雖トモ、人世ハ次第ニ開明ニ赴クモノ
 ナレハ、何ツ迄モ太古質朴ノ風ニテハ居ルモノニ非ス、且風氣ノ
 素純ハヨケレトモ、文盲猥陋ナルハ賤ムベキナリ、時勢ニ從テ文
 華ニ移リ換ルハ、亦天然ノ勢ナリ、衣食住ノ清楚豊美ナルト、不
 潔陋劣ナルニテモ知ルベシ、一旦文華ニ移リ、清楚美潔ニナリタ
 レハ、昔ノ不潔陋劣ヲ好ムモノナキハ、亦人情時勢ノ当然ナリ、
 若或ハ偶々独リ不潔陋劣ヲ甘シ、喜フモノアラバ、必スカノ矯激
 ノ癡論家ニアラザレバ、負惜ミノ風流茶人者流ナリ、茶人ニモ達
 人アリテ、古物モ元ハ新物、風雅ノ雅ノ字ハ正ト訓テ、必ズシモ

曲リタルモノヲ貴フニ非ズト云ヘリ、名言ト云ベシ、此等皆カノ
 矯枉過直ノ一家言ニ誤ラル、ト見ヘタリ、

野鄙草昧ノ人ハ、必天然ニ從テ人為ヲ用ユルコトナシト思フハ大ナ
 ル誤ナリ、某国ニ一種ノ野民アリ、其風俗頭ノ低キヲ貴ヒ、子生レ
 ハ其頂ニ板ヲ結付テ、頭ノ形ヲ造ル、又支那ハ半開半化ノ国也、其
 風俗婦人ノ足ノ細小ナルヲ美トシ、女子生レテ足ニ窄キ鉄履ヲ着
 テ、其天然ノ形ヲ成サシメズ、是皆人為ヲ以テ天然ヲ害スル也、文
 明ノ国ニ於テハ斯ル天然ヲ害スル甚キモノヲ見ズ、第十九章

諺ニ云、**人ハ文明ニ至テ其美ヲ尽スト**、野鄙草昧ノ国ハ、土地ノ廣
 ニ比シテハ、人口甚タ少シ、之ヲ平均シテ、一里四方ニ一人ヨリ多
 カラズ、其故ハ食料ノ不足ニ由テ然ル也、文明ノ国ニ於テハ、耕作
 ヲ勸メ、牧畜ヲ励ミ、工ヲ勤メ業ヲ營テ、其人口次第ニ増加シ、之
 ヲ平均シテ一里四方ニ二百五十人ノ数ニ至レリ、又草昧ノ人ハ老幼
 ヲ養フノ法ヲ知ラズ、且其生活ニ艱難ヲ凌グコト多キガ故ニ、人多
 クハ短命ナレトモ、長寿ヲ得ルニ至ル、英国ニ於テ百年以來ノ人ノ
 死生ヲ計テ、之ヲ平均シタルニ、国人ノ寿命次第ニ増加セリト云、
 第二十章

人ハ文明ニ至テ其美ヲ尽ス 此諺実ニ名言ナリ、今開化ノ都会ヲ
 觀テ知ルベシ、初ニモ云如ク、人性ハ不潔不美ヲ好ムモノニ非
 ス、若不然ハ必ズ蛮野固陋ノ風習然ラシムルナリ、雖然都會ノ
 地、奢侈ノ長ズル弊ナシト云ニハアラズ、コノコト下
 ニ詳ニ論ス、土地廣ケレ
 バ、人物隨テ増スベキハ、文化ノ明証ナリ、生兎ヲ壓殺スル等ノ
 弊ハ、鄙野陋習ノ甚シキナリ、耕作開拓ノ業ヲ勸進シ、牧畜生産

ノ道ヲ廣ムレバ、人員ハ数多アル程ヨロシキナリ、之ヲ平均シテ一里四方ニ二百五十人ノ数ニ至ルハ、實ニ文明ノ効驗ト云ベシ、凡全地球ノ人口八億五千万ト積リ、一里四方ニ平均シテ、十七人宛ノ割合ト云、今ワガ日本ノ人員三千余万ニ下ラズトカ、追々ニ文明進ミナバ、年々二三万口ノ増加アルベシ、是即富強ノ大基礎ナリ、オロソカニ思フベカラズ、

扱文明ノ進ムニ随テ、人寿モ増ト云説ニ至テハ、或ハ肯カハザル人モ多カルベケレトモ、亦コノ理アリ、政令ヨク行届キ、戸籍ノ調ラベ精クナリ、死生ノ検査密ニシテ、歳々月々ニ比較スレバ、精細ニ知ルベキナリ、文明ニ因テ寿ヲ増スト云實徵ハ、第一医理能開ケ、治療ヲ誤ラズ、且人々撰養ノ法ヲ知り、暴酒暴食セズ、脾胃ヲ健カニスレバ、現然驗アルナリ、草野不開ノ人民ハ、老幼ヲ養フ法ヲ知ラズ、固ヨリ撰生道ヲ解セズ、暴飲食ヲ恣ニシ、且生活産業ヲ營スル知識ナキガ故ニ、多クハ天寿ヲモ得保タズ、短命ヲ致シ、就中医ノ誤治尤モ多キハ、實ニ憐愍スベキノ極ナリ、英國ニテ実験セシニ、二百年以來ノ死生ヲ平均シテ、国民ノ寿次第二増セリト云モ、右等ノ理ナルベシ、必ス浮キタル説ニ非ズ、併シナガラ上古蛮野ノ民ニハ、自然機智淺ク、長寿ナリシ理ハ、實ニ亦誣ユベカラズ、ワガ 皇国上代人寿頗ル長ク、天子貴族ニ百歳已上ノ人多キコト、正史ニ確証アリ、此事別ニ論ズベシ爰ニ畧ス、

抑文明開化ト唱ル英國ニテモ、教化未タ洽カラズ、文字ノ教育ヲ受ケズシテ、無学文盲ナル者、放蕩無頼ヲ犯スアリ、又其辺鄙ニ至テ

ハ、上古懶惰ノ風ニ安シテ、文明ノ味ヲ知ラザルアリ、然レトモ是等ハ皆文明世界中ノ野人ナレバ、遂ニハ他ノ風ニ靡キ、他ノ徳ニ化シテ、共ニ天地ノ歡樂ヲ享ル日アルベシ、然ルニ又文明ノ進ムニ從テ、共ニ生ズル一種ノ弊アリ、此弊ヲ救フニハ、他ニ復其術ヲ求ムベカラズ、今其一ニヲ挙テ云ヘハ、文明盛ナレバ世間富饒ヲ致シ、コレガ為メニ貪人ノ心ヲ煽動シテ、惡事ニ陥ルコトアリ、是文明ノ弊ナリ、機関ノ制式、次第ニ精巧ヲ極メ、隨テ商法モ亦其趣ヲ變スルニ至テ、旧來ノ工商一時ニ其産業ヲ失ヒ、衣食ニ窮スル者亦少ナカラズ、此亦文明ノ弊也、今コノ弊害ヲ救フニハ、世人ヲシテ一般ニ世ノ形勢ヲ了解セシメ、其心ヲ勞シ其力ヲ役シテ、新ニ衣食ヲ求ムベキ方向ニ導クノ外、他ニ方術ナシ、凡ソ人トシテ義氣廉節ヲ守リ、心力ヲ勞シテ憚ルコトナクハ、仮令ヒ相競ヒ相争フ世ト雖トモ、活計ノ路ヲ得ルコト疑ナシ、即是文明世界中ニ求ムベキ活計ノ道ナリ、第二十一章

文明政府ノ下ニ在ナガラ、猶上古蒙昧懶惰ノ風ヲ慕ヒ、未ダ文明ノ真味ヲ知ラザルバ、文盲ニアラザレバ我慢也、豈可惜ニ非ズヤ、然レトモ此等ハ追々世文化ニ赴クニ随テ、面ノアタリ見聞スルニテ、少シハ眼ヲ開キ、遂ニ文明ニウツルモノ也、タトヘバ電信機ノ未タ世ニ知ラザル已前ハ、其理ヲ説諭シテモ肯ガハザリシモ、眼前ニ觀テ便ナルヲ知レハ、急用幹事ヲ囑マザルヲ得ズ、一度其用ノ速カニ達スルヲ目撃親見セバ、イヤトモ機関ノ妙用ヲ疑ヒ謗リシ陋見ハ脱スルガ如シ、然レハトテ何モカモ只管文明ノト云噪ギ、文明ニハ毫モ弊害ナキカト云ニ、是亦大ニ不然、其内ニ文

明ヲ誤解シタル俗輩ハ勿論夫事ナリ 文明ノ弊害亦細少ナラズ、況ヤ今時生洋学生ナド、其本ヲ知ラズ、只其末ヲ事トシ、文明開化ヲ逆施倒行シテ、其弊害ニ堪ヘズ、大ニ世道人心ヲ賊フコトアルヲヤ、コノ論尤モ長シ、一朝一タノ尽ス所ニ非ズ、且ツ世上文明トサヘ云ヘバ、只是華奢ヲ事トシ、欺罔ヲ巧ミ、互ニ己ヲ利シ人ヲ害シ、己ヲ立テ人ヲ倒スコトノミト錯会シ、攫奪盜賊世界トナリ、毫モ人間ニ義氣廉節ト云コトアルヲ知ラザルハ、固ヨリ言ヲ俟タサル弊害ナリ、然ルニ如レ斯輩ノ弊害ハ、猶淺ク知り易シ、但一種内狡黠機智ヲ挟ミ、外カ世ノ為メ人ノ為メ天下富強ノ名ヲ藉リテ、其実ハ僅カニ自家ヲ肥シ、公權ヲ借テ、私利ヲ營スル弊害ハ、実ニ世道人心ヲ賊フ大蠹、可憎ノ極ナリ、此輩ハ実ニ文明ノ賊ニテ、苟モ世ニ明眼人アレバ、其罪ヲ通レザレトモ、半明半化ノ際ニハ、多ク雜糅スルモノナリ、此ニ挙ル所ノ文明ノ進ムニ從フテ、共ニ生スル弊ハ、只文盲諛急ナル貧人ノ心ヲ煽動蠱惑シテ、生狡狴近ゴスキ商法ナトニ溺レ、無頼ノ姦商ニ誑カサレ、遂ニ其術中ニ陥リ、大損ヲナシ身家ヲ失フ等ノ弊ニテ、此ヲ救フハ、更ニ他術ヲ求ムルニ及ハズ、只世人ヲシテ眼ヲ開キ、真文明ノ事実ヲ目撃親見セシムルニ在ルノミ、内其自カラ感觸シテ、自カラ膺ル學者ハ、美ニ仕方ナキナリ、如此弊害ヲ憂テ、真ニ世道人心ノ為メニ、文明ヲ開カントスル人ハ、文学知見ヲ開キ、必ス義氣廉節ヲ守ル豪傑ニ非レバ、共ニ世ヲ救ヒ富強ヲ興スニ足ラザルナリ、人各其生ヲ保チ、自由ヲ求メ身ヲ重ンシ、物ヲ有スル理ハ、億兆同一轍ニシテ別ナシト雖トモ、人ノ氣質ト才力ニ至テハ、千差万別ニシテ、或ハ穎敏活達ナルアリ、或ハ愚鈍懶惰ナルアリ、或ハ謹慎勉

強スルアリ、或ハ放奢譎佻ナルアリ、剛柔善惡一ニシテ足ラズ、然ト雖トモ今此ニ二人アリ、其天稟毫モ優劣ナシト雖トモ、一人ヲ教テ一人ヲ棄レバ、其人物忽チ變シ、霄壤懸隔ニ至ル、是世ニ貴賤貧富ノ均シカラザル所以ナリ、概シテ之ヲ云ヘバ、人ノ知ラザル所ヲ知ル者ハ人ヲ制シ、人ノ知ル所ヲ知ラザル者ハ人ノ制セラル、ノ理ナリ、第二十二章
 人ノ氣質才力ハ、各々殊異ナルモノニテ、其敏鈍謹放等千差万別ナルハ、即天稟ニテ誣ユベカラザルモノナリ、故ニ孰レモノ生ヲ保チ、自由ヲ求メ、身ヲ重ンジ、ワガ所持ノ物ヲ有スルヲ欲セザル者ナシ是、自ツカラ貴賤貧富均一ナル能ハザル所以ナリ、然レトモ教ニヨリテ變化自在ナルハ、亦教化ノ妙用即人事ノ周旋尽力ニヨルモノ也、孟子奎章播種章亦コノ意ナリ、故ニ今氣質才力均一ナル二人ヲシテ、一人ヲ教ヘ一人ヲ棄レバ、忽チ其人雲泥ノ違ヒ出来テ、別人ノ如クナルハ、是人ヲ教ユルト云コト、実ニ不可レ欠緊要第一ナリ、人ノ知ラザルヲ知ルトハ、人ヲ教ヘテ知識ヲ開カシムルノ說ナリ、人ノ知ル所ヲ知ラズトハ教ヲ聞カズ、知識開ケズ、文盲ナルノ義ナリ、今日世ニ人ヲ制シ、自カラ人ノ頭トナルト、又人ニ制セラレ、自然人ノ下ニ付クトノ違ヒ目ハ、只コノ知識ノ開クルト否トニヨルノミ、是実ニ文明ノ教化ニテ、其關係最モ大且廣キ所、即貴賤貧富ノ分界岐路ナリ、世語ニ稟選ニ付ル業ナシト、余則云夫リ、然レトモ稟漢ハ多ク學ヲ勉メ教ヲ聞テ好マズ、苟モ教ヲ聞テ入サヘスレバ、忽チ稟漢モ知識開クルナリ、此二句、実ニ至要ノ金言ナリ、読ソレ此ヲ輕忽ニ看過スベカラズ、人情ハ必相抵抗スルヲ喜ムモノニテ、世上却テコレヲ以テ相争競勉

勵シテ勸ムモノナリ、故ニ一家族ノ如ク、互ニ身ヲ棄テ財物ヲ抛テ、相助力スルハ極テ稀ナリ、今家ヲ出テ世上ヲ見ルニ、人々我路ヲ行キ、我職ヲ務メ、我カ趣意ヲ達セントシテ、各々先ヲ争ハザルモノナシ、是世人相勵ミ相競フノ性情ニテ、世ノ為メ益ヲ為スコト少カラズ、世間モシコノ情ナクバ、心力ヲ勞シテ功名ヲ立ルモノナカルベシ、如斯我幸福ヲ求メ、我趣意ヲ達シ、我活計ヲ営ミ、他ヲ顧ミズト雖トモ、独リ我私欲ヲ恣ニシテ、他人ノ妨ヲ為ス患ヒナキハ、只文明ノ教然ラシムル所ナリ、第二十三章

今ソレ文明ノ教開ケザル蛮野ノ民ノ群中へ、一片ノ財物ヲ投與フル時ハ、忽チ其群上下混乱シ、互ニ之ヲ争テ、面ニ庇付ケ、眼ヲ抓裂キ、其醜態見ニ忍ビザルコトアリ、文明ノ世ニ於テハ必然ラズ、人々皆是非ヲ知り、礼義ヲ重ンズル故ニ、人ヲ害シテ己ノ私意ヲ達スルコトナシ、草昧不文ノ世ニ在テハ、人ヲ害セザレバ、自カラ利スル能ハズ、故ニ心身活達ニシテ事ヲ成ス者ハ、常ニ盜賊ヲ為ナリ、文明ノ世ニ於テハ然ラズ、富貴利達ヲ致ス者ハ、常ニ他人ノ利益ヲ成シタル者ナリ、富貴利達ヲ致スニ二道アリ、其一ハ他人ノ物ヲ奪取ルト、其一ハ己ノ力ヲ以テ新タニコレヲ興スト也、武ヲ貴ヒ力ヲ畏ル、国ニ於テ富貴ヲ致スニハ、必他人ノ物ヲ奪取ルノ外道ナシ、不文不明ノ世ニ居テ、富貴ナル人ヲ見ルニ、必他人ノ損害ヲ成セル者ナリ、師ヲ興シ妄二人ノ国ヲ攻取リ、盜賊同様ノ挙動ニテ、自カラ富貴ヲ致スモノアリ、又国民ヲ奴僕ノ如ク使役シ、其膏血ヲ竭シテ自カラ富貴ヲ致ス者アリ、是等ハ皆他人ノ損害ヲ為スモノナリ、第二十四章

抵抗力

トテ互ニ張合テ負ケズ劣ラヌ氣力ヲ固有スルハ、凡ソ活物皆然リ、就中人ハ其最靈ナルモノナレバ、此抵抗力モ多ク且烈シキナリ、是モトヨリ憎ムベキ惡物ニ非ズ、却テ之ヲ以テ相争競シテ勸ムモノナリ、若シ或ハコノ情ナケレバ、世ニ骨ヲ折功名ヲ立ル張合ハツミナク、人情亦之ヲ榮トシ、之ヲ羨マザレバ、皆所謂手齒相接スル一事ノミニ止アリテ、他ノ礼義モ又飾モナク、多クハカノ穀盜ノ自由偷安ニ落ルナリ、故ニ一家骨肉ノ如ク、真味ニ身ヲステ物ヲ費シテ、相助合少モ思ニ着ル顔色モナキハ、億兆中ニ極々稀ナル人物ナリ、偶々身財ヲ棄テ少モ惜マズ、思ニ善モノアレトモ、或ハ名義ヲ反スル姦偽、人為メニスル任使者ニ非レバ、或ハ損得モ知ラヌ痴人カ、又義理ノ廢物ナリ、

今眼ヲ開ヒテ路上ノ人ヲ觀レバ、人々我が職ヲ勉メ我が利ヲ營ミ、汲々皇々東西ニ奔走スルハ、皆コノ争競營求、我ギミニ負ケズ劣ラジト働ク抵抗力アルニヨルノミ、サレバ人間ノ幸福モ活計モ、皆此氣力ニ基カザルモノナシ、是文明ノ教化ヲ敷テ施サ、ルベカラザル一大急務也、然ルニ人生コノ争競營求ノ抵抗力ノミ勝チテ、更ニ義氣廉節礼讓ト云コトナケレバ、恰カモ狗猫ノ寄合同様ニテ、若シ或ハ其蠢々タル群集中へ、一個ノ財物ヲ投與フレバ、狗猫ノ喰合如ク、実ニ其攫奪ノ醜態淺間シサ、視ニ忍ビザルコトアルベシ、苟モ文明ノ世ハ然ラズ、人々相應ニ義氣廉節ヲ知ル故ニ、人ヲ害シテ己ノ利達ヲ欲スルモノナシ、偶ココレアレバ、人コレヲ賤ミ惡ミ、共ニ齒ヒセザルニ至ルナリ、故ニ草昧ノ世ニアリテ、富貴利達ヲ務ムルモノハ、多クハ心身活達ノ豪傑ニシテ、常ニ豪盜巨賊ヲ為スモノ也、從來富貴利達ヲ致スニ二般ア

リ、一ハ無理ニ他人ノ所有ヲ豪奪スルト、一ハ條理ヲ遂ヒ、自己ノ心力ヲ尽シテ、之ヲ營求スルトナリ、故ニ古今武ヲ貴ヒ力ヲ畏ル、国俗ニテ富貴ヲ致スニハ必ス他有ヲ奪フノ外別術ナシ、古來英雄 世界一般ノ通義ヲ只一己ニ私ニシテ、万民ノ膏血ヲ絞取テ、自家ヲ肥シ、他人ヲ損害スルヲ構ハザルハ、下民ニ若シモ知識開ラキ文明ニ進ミナバ、必ス仇讐ノ思ヲナシ、或ハ其肉ヲ喫セントスルニ至ルベシ、

歐洲ニ於テモ、往古封建世祿ノ乱世ニ当テ、世人産業ヲ營ムコト能ハザル故、財宝ヲ竊ニ匿シ貯ヘ置シニ、国内貴族コレヲ見出シ、無法ニ奪取シコト屢々アリ、此時ニハ世祿ノ武士等穩カニ業ヲ營ムヲ恥辱ト思ヒ、専ラ乱暴ヲ恣ニシ、世人ノ貯置シ財物ヲ豪奪スルヲ少シモ憚ルコトナク、却テ功トセシト也、我應仁以後ノ乱世、實ニコノ景況アリ、憐ツベキニ非ズヤ

右ノ如ク天下武ヲ貴ヒ、互ニ先ヲ争テ、富貴利達ヲ求ムルモ、即亦人情抗抵争競ノ趣意ニ似タレトモ、其実草昧不文時勢ノ惡弊ニテ、決シテコレヲ世ノ繁昌ト云ベカラズ、文明ノ教漸ク行ハレ、人々徳行ヲ修シ、知識ヲ研キ、義氣廉節ヲ重シ、己ヲ利シ人ヲ利スル仁恕ノ世トナリテハ、世態人情全ク変シテ、人自カラ富貴利達ヲ欲スレバ、他人モ亦コレヲ欲スル情思アルヲ恕宥シ、自利々他ノ知見ヲ貴ヒ、富貴利達ヨリ、凡ソ人ノ欲スル情願ヲ、相互ニ遂ゲシムル風尚トナリ、随テ又其器械ヲ發明功夫スル、英才奇工人世ニ出ルニ至レリ、蒸氣車、鉄道ヲ發明セシフット、紡績機関ヲ始メシハ、ルクリウス等ノ如キ、奇巧精思ノ秀才輩出セシナリ、已ニ如斯大家先生有テ、天下万世ノ為ニ大利益ヲ謀ルニ至ルハ、実ニ人間交際ノ道益開ケタル

文明ノ進歩ト云ベシ、第二十五章

故ニ世人若シ惡事ヲ為サズ、智力ヲ用ヒ、功名青雲ニ志ス者アラバ、必ス之ヲ許シ、其通達ヲ妨グベカラズ、然レトモ人々亦妄ニ利達ヲ望ミ、熱中ノ欲ニ乗シテ、之ヲ節スルコトヲ知ラザレバ、青雲ノ志變シテ野心トナリ、人ヲ利セズシテ人ヲ害スルニ至ルモ少カラス、如レ斯人ノ事理ヲ誤解スル由縁ヲ察スルニ、始メニ私欲ヲ逞クセントシテ望ヲ失ヒ、遂ニ終身ノ心事ヲ誤ルコトナレバ、人タルモノ事ノ始ヲ慎マザルベカラズ、抑々天下衆人ノ内ニハ、不義ニシテ富且貴キ者アルベケレトモ、固ヨリ人道人理ノ大義ニ戾ルコトナレバ、之ヲ智ト云ベカラズ、且文明ノ盛ナルニ從テ、世間一般ノ為メニ衆人ノ利益ヲ平均スル風俗トナルガ故ニ、其間ニ居テ他人ノ害ヲ為シ独リ私利ヲ貪ラントセバ、必ズ我が力ニ及ハザルコトアルベシ、人生互ニ先ヲ争テ自己ノ為メヲ謀ルニ似タレトモ、事ヲ成スニハ、必シモ一人ノ力ニアラズ、常ニ他人ト交ヲ結テ、其事ヲ共ニスルコト多シ、固ヨリ此交ハ他人トノ交ナレバ、家族ノ如ク、親愛ノ情ヲ頼テ此彼ノ差別ナキニハ非ザレトモ、互ニ其緩急ヲ救ヒ、其欲樂ヲ共ニスルノ趣意ナルカ故ニ、人間ニ欠クベカラザルハ交際ノ道ナリ、

人ノ氣力性質ニハ、固ヨリ剛柔善惡ノ差ヒアルモノナレバ、世ノ開クルニ隨テ、教化ヲ敷キ人ノ氣力性質ヲシテ、専ラ善処ニ誘導スルヨリ、漸々惡ヲ化シテ善トナシ、私慾ヲ變シテ公慾トナシ、彼人ニ勝レシ氣力性質ヲ用ヒテ、功名富貴ヲ取ラシメ、自利々他ノ人道交際ヲ勸ムルヲ、名付テ文明開化ノ教ト云也、然ルニ乱世

ノ浅間シサハ、所謂強者弱肉ヲ喰フ悪風ニテ、腕力ヅク力ヅクノ
 抓合也、故ニ偶々辛苦シテ貯ヘ置タル財物衣食モ、匿シ所アシケ
 レバ多ク有力者ニ見付ラレテ横奪セラレ、武力足ラザレバ不レ得
 レバ懾伏スルヨリ外術ナキ也、文明ノ教開クルニ随テ、義氣廉節
 礼讓ト云コトヲ知り、互ニ仁恕ノ道ヲ以テ他人ヲアシラフコト、
 一家族ノ情合ヲ擴充シテ、先ツ隣家ニ及ヒ、ソレヨリ一郷一國ニ
 及ヒ、遂ニ文明世界四海一統相親睦ノ一大交際トナルハ、併シナ
 ガラ上天ニ坐マス、無上至尊ノ造物天神ノ仁慈ニ基ク所以ナリ、
 此他ナシ、即人間ニ各々賜ハル所ノ靈魂天性ノ量分ナリ、サスレ
 バ所謂堯舜其猶病之ノ、廣施博濟ノ大功業モ到底文明ノ極ニ至テ
 ハ事實ニ觀ルベキナリ、

所謂姦雄姦物ト號スル人、其才能必ズ非常超群ナルモノ也、此ヲ
 能用ヒテ程善ク轉化スレバ、所謂野心ノ志モ青雲ト變シ、人ヲ害
 スル心モ、人ヲ利セントスル心ニナリ、忽チ有用人物トナリ、為
 レ世為人ニナルモノナリ、是亦教化ノ妙処、知ラザ（ル）ベカ
 ラザル処ナリ、

因ニ云、人青雲利達ノ望アル者ハ、多クハ有為有志ノ士ニテ、固
 ヲリ憎ムベキ惡物ニ非ズ、此等ノ情ヲ能恕諒シテ、其通達ヲ妨害
 スルコトナク、互ニ周旋尽力セバ、是人必ス善士ト為ルベシ、今
 不文ノ政府、或ハ青雲奔競ノ望アル書生ヲ憎ミ猜忌シ、其通達ヲ
 妨害スル等ノコトアリテハ、人才ハ益々育タズ、人望モ離ル、モ
 ノナリ、余嘗謂夫主將之法、務攬英雄之心ト、英雄ト云テ別人ニ
 非ズ、少シ才氣アル書生ナリ、コノ者ノ心思ヲ収攬スル時ハ、

人々皆懷クモノナリ、

人間交際論 下峽

人民教育

人ノ生ル、ヤ無知ナリ、其之ヲ知ルモノハ教ニ由ル、子生レハ父
 母コレニ教ヘ、先ツ其智識ヲ開カシム、既ニ父母ノ教ヲ受レハ、次
 テ又学校ニ入ラサルヘカラス、故ニ天下ノ急務ハ学校ヲ設ルヨリ先
 ナルハナシ、盖人民幼ニシテ学ハズ、長シテ智識ナケレバ、輕挙妄
 動前後ヲ顧ミス、遂ニハ罪科ニ觸レ人間ノ交際ヲ害スルコト多シ、
 第一章

人ノ智識ヲ教導スルトモ、必シモ之ニ由テ其德誼ヲ養フヘキニ非ラ
 ス、古來聰明穎敏ノ譽アル学者ニシテ、却テ大惡無道ナルモノ少ナ
 カラス、然レトモ教育ノ法宜シキヲ得テ、德行ニ進ミ聖教ニ化スル
 トキハ、亦以テ盛徳ノ士ヲ出タスヘシ、又世間ニ惡事ノ惡タルヲ知
 テ、故サラニ之ヲ犯スモノアラハ、速ニ罰シテ其罪ヲ假スルコト勿
 ルヘシ、如斯輩ハ假令罪ヲ蒙ルノモ、其罰ノ至當ナルヲ甘ンシテ罪
 ニ伏シ、既往ノ過ヲ改ルヲ知ルヘシ、然レドモ人ニ智識乏シクシ
 テ、是非曲直ノ辨別ナキ者ヲ罰スルニ至テハ、其處置甚タ難シ、其
 罪ヲ見テ直ニ之ヲ罰スルヨリモ、若カズ其人ヲシテ先ツ是非ヲ辨シ
 罪ニ陥ルコト勿ラシメンニハ、是所所真ノ刑法ナリ、人ヲ罪スルヨ
 リ人ヲ教ユルノ便利ナルヲ知ラバ、何為ソ其人ヲシテ、無知ナラシ
 ムルヤ、教ヘサル民ヲ罰スルハ、慘酷ノ甚シキモノト云ヘシ、第二
 章

人民教育 人間ハ靈魂氣力性質ノ三ツヲ具スト雖トモ、教ヘサレハコノ三ツノ物用ヲ成サス、竟二人ノ人タル景様ヲ失フテ、狗猫ニモ劣ルニ至ル也、従来教ハ此三物ヲ成就スル云ナリ、故二三物ノ外ニ教ナク教ノ外ニ三物ナシ、上品ノ人ハ教ヘスシテ善ト称スレトモ、上品人ト雖トモ初生ヨリ教ヘザレバ、世習弊風ニ遷ラサル能ハス、況ヤ中人以下ヲヤ、然ルニ此教ト云コト和漢古今多種アリテ、其弊害モ亦少カラス、今一二ヲ擧レハ無理ニ抑制シテ矯メ直サントスル教アリ、其弊必ス抵抗杆格シテ、一種狼戾激成ノ意地ヲ生スル也、幼兒ヲ折檻スル等太甚キト云ハ、其兇友テ狼戾シテ原ヨリモアシクナルガ如シ、是一弊也、或ハ猿ニ劇技ヲ馴致スルコトク、元来ナキコトヲ教ヘ入シテ藝業ヲ学バシム、或ハ食物ヲ以テスルアリ、是或ハ一時功ヲ見ルト雖、其弊必ス鄙劣ニナリテ、所謂万能一心、德行ヲ舎テ徒藝ニ誇ル悪習ヲ生ス、是一弊ナリ、或ハ一家ノ学流門戸ヲ主張シ、必ス其所好ニ牽合シテ其流派ニ阿附セシメントス、其弊固陋他ヲ譏リ自負ヲ長ス、是一弊アリ、此等教ノ本意ヲ知ラサルノミナラス、大二世道人心ヲ害スル也、従来教ノ起原ハ、人間有生ノ初メニ、上帝天神ヨリ賜リタル靈魂ニ基キ、深ク神明ノ可畏敬ヲ知ラシメ、人ノ人タル根本ヨリ教ヘ導キ、善ヲ為シ惡ヲ去リ、智識ヲ開發シ、技能ヲ研究シ、各其性質ニヨリ德行藝術ヲ仕習ハスルヲ教化ノ本意トスル也、德行トハ只貞実ナル行義人柄ノミ、必シモ高尚ナルルコトニ非ズ、藝術ハ今日ノ技藝文字修行等ナリ

人ノ生ル、ヤ無知ナリ 所謂知ハ智識ニテ、分別才覚ヲ云、本来靈魂ニ根サシタル真知灵光ト其差ナキ能ハズ、真知ト智識ハ譬ヘハ水ト波ト又水ト氷トノ違ヒノ如シ、真知ナリ、波氷ハ智識ナ

リ、今赤子ヲ見ルニ真知ノ体ヲ具サハルニハ非レトモ、智識ト云モノ開ケズ少モ分別才覚ナシ、ソレヲ漸々ニ教ヘ入テ知慧ヲ開カシムルトキハ、忽チ智識出来ル也、故ニ知慧ハ教ニヨリテ生スト云、**所得甚タ多シ** 智識ノ開クルニ随フテ漸々都合ヨキコト多ク其所得勝テ計ルヘカラス、是皆父母ノ教育ニヨリテ始テアルコトニテ、今父母ノ教育モナキ、野蠻草莽ノ民ニ智識ナキニテ可知ナリ、父母ノ教育ト云ト雖トモ、母ノ教育多ニ居ル也、嘗聞、教ノ原頭ハ慈母ノ乳房ニ在リト、此言実ニ然リ、大抵好兒ハ母力仕立ルモノ也、古來賢母ノ教ニ依テ好人ヲ出セシコト不少、 **天下ノ急務学校ヨリ先ナルナシ** 歐洲諸國文明大二進ミ、小学校盛ニシテ毎戸每人、其教育ヲ被ラサルモノナシ、諸州学校生徒表ニテ可知、合衆國ノ「ニウオルク」ハ、九千區二分テ、毎区必ス小学ヲ設ケ、兒童ノ數五十万人ニ下ラスト云ヘリ、人物ヲ教育シ出スハ、実ニ天下第一等ノ至急也、後來人物選舉入札ノ人才ハ、固ヨリ外ヨリ出ルニ非ス、必コノ五十万中ノ兒ヨリ出ルナレハ、國政ノ根本、經濟ノ基礎ハ、必ス此ニ在ルコト更ニ論ヲ俟タス、然ルニ文明不開ノ國ニハ、コレヲ第一急務トスルヲ知ラズ、ヨシヤ少々学校ヲ開キテモ、其体裁本式ヲ知ラズ、教授其人ヲ得サレハ、畜ニ人オヲ出サ、ルノミナラス、大二損害ヲ貽スコトアリ、建学ノ議ハ、余嘗與レルコトアリテ、一議案ヲ草セリ、勿論國ニヨリ風尚ニヨリ變通ナカルヘカラス、 夫人幼ニシテ学ヲ知ラズ、長シテ智識ナケレハ、其所為只嗜慾口腹ノ事ノミヲ事トシテ、所謂口手相接ノ俗ノミ、遂ニハ直情徑行ニシテ事輕拳妄動ヲ免カレズ、人間ノ交際モ調ハス、或ハ刑辟ニ罹リテ、不良ノ死ヲ致スニ至ルハ畢竟教ナク文盲野人ナルニ坐スルノミ、嗟乎悲哉、米ノ「ワ右」云、事實天下ノ裨益ヲ謀リ、世ノ為メニ功ヲ成スノ大小誰レカ学校教師ノ右ニ出ルモノアラン、何物カ人民教育ノ重大ナルニ若カント、真ニ名言ナリ、

扱此ニ所謂教學ハ皆智識ヲ開ク窮理科技藝學ニ係リ、修身治心ノ本學ニ於テハ別科ニ属スルカ如シ、故曰、古來聰明穎敏ノ學者ニ却テ大惡無道ナルモノ少ナカラスト、又曰、然レトモ教育法宜ヲ得テ德行ニ進ミ聖教ニ化スルトキハ亦以盛徳ノ士ヲ出スヘシト、是修身治心ノ學ノ最上乘ニシテ諸学科ヲ包括スル所以ナリ、後世支那ノ學風ハコノ二科混雜シテ所謂ドチモ付カズトナリ、修身治心ノ學一種口頭紙上ノ空談トナリテ世用ヲ為サ、ル遺憾ト云ヘシ、第一カノ及第八股ノ學ト云コト大ニ弊習ヲナセリ、洋人嘗云支那人才ノ出テサルハ及第八股ノ學アレバナリト名言ト云ベシ、先師嘗云、古ノ所謂學ハ性分ノ固有ニ本テ德行ヲ主トス、故ニ能ト不能ナシ、後世ハ學問藝ニ落ツ、故ニ能ト不能アリ、人ノ言ニ曰、某人學問餘リ有テ行儀足ラズ、某人行儀餘アツテ學不足ト、嗟乎孰レカ學問餘リ有テ行儀足ラサルモノ有シヤ、譯言ト云フヘシト、參看スヘシ、

世ニ惡ノ惡タルヲ知テ故ラニ犯ス者アラハ、速ニ罰シテ其罪ヲ假スコト勿レ、此輩ハ假令罰ヲ蒙ルトモ其罰ノ至当ナルヲ甘ンジテ罪ニ伏シ既往ノ過ヲ改ルヲ知ルヘシト、此説和漢ニ亘リ名言ナリ、所謂教ヘサル民ヲ賊フ之ヲ棄ト云ト是也、是非曲直ノ辨ヘモ知ラスモノヲ罰スルハ盲人ヲ歐打スルニ異ナラス、無知ノ民ヲ罪スルヨリ無知ノ者ヲ教ルニ若カサルヲ知ラハ、教ヘサル民ヲ罰セスシテ速カニ教ヲ開クヘキ也、

法律ノ能行ハル、政府ニ於テハ、國ニ罪人アレハ之ヲ捕ヘ、夜盜拐兇強盜ノ如キモ一度縲綑ニ就テ其罪狀明白ナルトキハ、之ヲ刑ニ處シテ國典ヲ正スヘシト雖トモ、國ニ無智文盲ノ人民多キハ其害擧テ云ヘカラス、此輩ハ是非曲直ヲ辨セス、國法ニ從テ私財ヲ保ツ所以ノ理ヲ知ラスシテ、一旦國ニ騷乱アレハ忽チ其鬣ニ乘シテ雲集蜂起

シ、法ヲモ畏レス人ヲモ憚カラス、慘刻兇惡至ラサル所ナシ、其一例ヲ擧テ云ハンニ、昔日佛蘭西騷乱ノトキ恐ルベキ暴行ヲ為セシ輩ハ皆無學文盲放蕩無賴、良政府ノ下ニ居テハ活計ヲ営ム能ハサル者ナリ、第三章

政府ノ法律ハモト良民ノ藩籬妨害ノ為メニ設クルモノニシテ、無知ノ民ヲ罔スル具ニ非ス、故ニ國ニ無知文盲ノ人民多ク其私有ヲ保スルコトモ知ラサレハ、一旦騷乱アルトキハ忽雲集蜂起シテ一揆ヲ釀シ、法律ヲモ畏レ憚ラスシテ天放ナル暴行ヲナスモノナリ、是畢竟教育ナキニヨルナリ、所謂及レ陷レ罪而從刑レ之ニ至レハ、無知文盲ノ民ノ為ニハ政府有司ヲ仇視シ、法律ノワガ藩籬ヲルヲ知ラサルノミナラズ、法ヲ破ルヲ以テ猛キコトニ思フ弊ヲ生ズル也、良政府ノ下ニ居ル良民アラシムルハ文明ヲ開キ教ヲ先トスルニ如クハナシ、

救窮ノ為メニ多ク金ヲ費スモ、其原因ヲ尋ヌレハ皆下民ノ無知無識ナルニ由テ然ラシムルモノナリ、人ニ知識ナケレハ必遠キ慮ナシ、遠キ慮ナキ者ハ必目前ノ慾ニ逐ハレテ遂ニハ其惡行名狀スヘカラサルニ至ルコトアリ、第一養生ノ法ヲ知ラス、飲食ヲ節ニスルヲ知ラス、人ニ交ル道ヲ知ラズ、廉耻ノ義ヲ知ラズ、以テ世間ノ風俗ヲ亂リ、共ニ貧窶ノ苦界ニ陷入モノ少ナカラス、

第四章

困窮ノ因モ亦多ケレトモ、大抵無知無識、教ヘナキニ由ル也、人知識ナケレハ必遠慮ナシトハ、無學文盲ニシテ心知開ケサルモノハ、目前ノ事ニノミ拘ハリテ一寸サキノ事ニモ氣付カス、固

ヨリ遠ナル思慮アルコトナシ、先ツ口腹情慾ニ逐使ハレテ本心灵魂ハ昧シテ仁恕ノ心ナク、果々ハ悪行名状スヘカラサルニ至リ、第一養生ノ法ヲ知ラズ暴飲食ヲ恣ニシテ節儉ト云ヲ解セス、人世交際ノ厚誼廉恥礼義ヲ辨ヘス、大ニ世道人心ヲ破壊シ終ニ貧苦ニ迫リ果ハ盜賊ヲ為スモノナリ、

人ニ智識ナケレハ勤勞ノ真理ヲ知ラズシテ貧窮ニ困ム甚シ、或力役スルニ似タルコト有モ其方向ヲ誤テ無理ノ道ニ由ル、故ニ勞シテ功ナシ、或ハ又事實其土地ニ居テ活計ノ道ナクハ、他國ニ行テ之ヲ求メ自カラ安身ノ方便ナキニ非ザレトモ、尚奮発ノ意ナクシテ懶惰ニ安シ甘シテ貧窮ニ困シム者少ナカラス、即蘇格蘭ノ西部ニ往スル野民ノ如キ是ナリ、此野民無知亦甚シ、常ニ貧困ニシテ或ハ餓死スルモノアリ、然ルニ他所ヨリ此貧民ヲ雇テ仕役セント欲スル者多ト雖トモ無知ニシテ郷里ヲ離ル、ヲ艱ミ、蠢爾トシテ家ニ止リ終歲貧窶ノ苦ヲ免カレス、第五章

夫人貧窮ヨリ苦シキハナシ、孰レカ之ヲ免ル、ヲ欲セザラン、之ヲ免カル、ノ道無レ他、只知識ヲ開キ旧習ヲステ新得ヲ来スニ在ルノミ、今知識稍開ラケ生産ノ道種々アルヲ知ルト雖トモ苟モ骨折勤勞スルヲ憚レハ亦能ハス、然ラハ勤勞ノ真理ヲ自知自信スルモノ能貧困ヲ免カル、ト知ルヘシ人此ニ見ルコトナケレハ聊カ力役勤勞スルニ似タルコトモ皆所謂ムダ骨ニテ其方向ヲ誤テ無理ノ道ニ由ル此方向他ニ非ス、即真知識ト勤勞トナリ、コノ二ツノ方向ヲ取違ヘテ筋モナキ非義無道ノ譎術賭博負博奕等不正ノ類ニテ渡世セントスル故、弥勞シテ弥功ナク、假令ヒ一時僥倖ヲ得タリトモ、遂

ニ尻ノハグレ納リ付カヌモノ也、若又実ニ其土地ニ居テ活計ノ道ナキトキハ、他國ニ行テ求メ抔種々安身ノ方便ヲ謀ルヘキニ、其奮発ノ意モナク懶惰偷安ニシテヤハリ貧困ヲ甘ンスルハ所謂穀盜ニアラサレハ奸偽ナリ、

古來種々新發明ニ由テ世ノ裨益ヲ成セシコト勝テ云ヘカラス、然ルニ無知頑陋ノ輩ハ此發明奇器ヲ視テ怪物ノ如ク思ヘリ、愚民党ヲ結テ精巧ナル機關ヲ致チ、或ハ其發明家ノ功德ヲ謝セスシテ却テ凌辱セシコト屢々コレアリ、是皆無知文盲ノ然ラシムル所ナリ、此輩ハ固ヨリ機關ノ何物タルヲ知ラズシテ只管コレヲ有害無益物ト視做シ、之カ為メニ世間一般ノ恩人タル發明家モ害ヲ被リシコト少ナカラス、昔日佛蘭西ノ首府「パリ」ニコレヲ病ノ流行セシトキ、衆医力ヲ尽シテ之ヲ救ハントセシニ、小民等ハコレヲ病ノ何物タルヲ知ラスシテ妄リニ醫師ヲ咎メ、醫師毒藥ヲ以テ人ヲ害スルトテ兇人ノ如ク視做シ屢之ヲ犯シタルコトアリ、又医術ノ罪トセリ、新式ノ工夫世ニ行ハレ或ハ時物ノ流行變換スルニ從テ人モ亦其職業ヲ改メサルヘカラス、此時ニ当テ事物ノ理ニ通シ器械學ノ趣旨ヲ知ル者ハヨク時變ニ應シテ其業ヲ改ルコトヲ得ルト雖トモ、無知文盲ノ者ハ然ラズ、旧業ヲ固守シテ變通ヲ知ラス、坐シテ他ノ新工夫ノ為メニ窘メラル、ノミ、抑々斯ル愚民ノ意ニハ旧來我守ル所ノ職業ノ外天下ニ求ムヘキ活計ノ道ナシト思フヘケレトモ、若シ此輩ヲシテ稍物理ニ明カナラシメナハ活計ノ求テ得易スキヲ知り、旧ヲステ新ニ就キ却テ貧困ノ苦ヲ免カル可シ、又之ヲ一國ノ為メニ計ルトキハ救窮ノ費ヲ省ク一大助トモナルヘシ 第六章

世ノ中ハ次第ニ開明ニ赴クモノニテ從テ開ケハ從フテ新ニナルハ
 理勢ノ常也、況ヤ新奇發明ノ裨益アルヲヤ、然ルニ頑鈍無知ノ輩
 ハ此理ニ通セス新發明ノ奇器ヲ見テ己ノ陋見ニ合ハサルヨリ奇怪
 妖物ノ如ク猜忌シ、類ヲ以テ聚ル庸愚党ヲ結ヒ朋ヲナシテ切角世
 用ヲ為セシ機関ヲ打壞リ或ハ發明家ヲ種々言ツプシ、畜ニ其功德
 ヲ謝スルヲ知ラサルノミナラス、飜テ仇視怨恨凌辱毀害ヲ加ヘン
 トス、其忌尅隘狹美ニ愧ヘキヲ愧チサルナリ、是皆無知蒙昧ノ咎
 ナリ、古今コレニヨリテ恩人ヲ害殺セシ例少カラス、佛ニテ暴瀆
 病ノ流行セシ話ニテモ可觀ナリ、今世山野未開ノ僻郷ニハ猶此風
 習殘リテ洋式洋医ノ精微ヲ謗ルモノ皆時勢變遷ノ景況ヲ知ラス、
 文盲不学ナルニ坐スルノミ、不然ハ新發明ニヨツテ旧業忽停止廢
 物トナレルヲ悔恨スルヨリ起ル妬心ニテ益文明良政府下ニ居難キ
 頑民ナリ、若シ此輩ト雖トモ稍時勢ニ移リ物理ヲ明ラムルコトヲ
 知ラハ、世ノ活業一概ナラス旧ヲステ新ニ就キ速ニ貧ヲ免カレ富
 ヲ求メ文明ノ新味ヲ嘗テ前日謗リシ心腸モイツシカ改頭換面スヘ
 シ、是亦文明日新ノ功驗ノミ、

稍々教育ヲ被リタル人ハ智識ノ貴ヲ知り、苟モ知識ヲ開キ學問ヲ助
 クル為メニハ心力ヲ勞シ財物ヲ散スルトモ之ヲ務ムルノ志出來リ奮
 發スルモノ也、愚痴蒙昧ノ頑民ハ此味ヲ知ラス、人ヲ教育シ知識ヲ
 養フ等ノ事ニハ恬トシテ心志ニ関スルコトナク、却テ文明學問ヲ勸
 ムル為メニ骨ヲ折リ周旋尽力スルヲ自己ノ利ヲ營求スル為メナト、
 謗議シ、甚ニ至テハ棄テ、無用ニ帰スル愚兒ヲ懇倒ニ世話シ教育セ
 ントスル厚意ヲ蔑視シ空シク日力ヲ費シ無用ノ虚學ヲ為サシムルト

恨怨スルニ至ルモノアリ、世ニ愚夫愚婦ノ吾子ヲ棄テ、教ヘサル有
 様ヲ見レハ其心事駭クヘク憎ムヘキ慘刻ト云ヘシ、其父母モ亦躬ツ
 カラ文明學問ノ何事タルヲ知ラサレハ其咎ノコトナカラ子ヲ愛スル
 ヲ知ラサルハ悲ムヘキコトナリ、第七章

人民ノ知識學問ヲ助クル為メニ心力ヲ勞シ財物ヲ費テ少シモ惜マ
 サルハ即文明國ノ風俗ニテ、人々明ニ其利害得失ヲ知レハナリ、
 蛮野愚蒙ノ俗ハ乃然ラス、人ノ知識學問ヲ勸ムルヲ知ラサルノミ
 ナラス人ノ知識學問アルヲ忌惡ミ、可愛兒ト雖トモ之ニ知識學問
 ヲ教ユルト云コトハ絶テナク、只口腹情思ノ慾ヲ助クル具ノミニ
 心力ヲ勞シ、藝術修行ニ入費アルヲハ大ニ損害ノ様錯會シ、若人
 アリテ親切厚意ヲ以テ其子弟ヲ教導セントスルモノアリトモ他ノ
 厚意ニ報ユル礼謝ヲモ出サス、畜々ニ恩ヲ謝スルヲ知ラサルノミ
 ナラス却テ恩人ヲ仇視スルニ至ル、甚シキ愚ト云ヘシ、夫世ニ無
 知無学ナル程恥辱ナルハナク又大害ナルハナキヲ、愚夫愚婦ハ其
 子ヲ打棄テ看スル廢物ニサスル其心事実ニ思ハサルノ甚ト雖トモ
 可駭可憎ニアラスヤ、文明ノ進ミタル國ニハ子無モノニテモ他人
 ノ子弟ヲ世話シテ知識學問ノ為メニハ財物ヲ費スヲ惜マス、人ノ
 為メ國ノ為メニ學問ヲ勸進セント謀ルモノナリ、今蛮野不開ノ俗
 ニ鬼神祈祷ノ事ニ勸化寄進ノコトヲ募レハ我劣シト金ヲ抛チ心力
 ヲ勞スルモノナルニ、苟モ世ノ為メ人ノ為メニ長計トナル一大事
 ヲハ何トモ思ハサルノミナラス、却テコレヲ妨害忌尅セントスル
 ハ豈悲ムヘキニ非スヤ、

貧ニシテ不_レ得_レ己_レ吾子ヲ教育スルコト出來サル者ハ他人之ヲ助ケ

教へサルヲ得サルモ亦人間ノ一視同体ノ仁心ニテ、苟モ既ニ知識開
ラケ学問長セル者ハ此任ヲ甘受シ其煩勞ヲ厭フヘカラサル理アリ、
従来窮民ヲ救ヒ罪人ヲ制スル為メニ税ヲ納ル、ノ高ハ既ニ已ニ夥
シ、今人民教育ノ為メニ費ス所ノ金ハ人ヲシテ貧困ニ陥ルコトナ
ク、又罪惡ヲ犯スコトナカラシメントスルモノニテ、所謂禍ヲ未然
ニ防ク趣意ナレハ、既貧シキ貧人ヲ救ヒ既ニ罪アル罪人ヲ制スル為
メニ税ヲ納ル、ヨリモ其金ヲ費スノ功德ハ遙ニ優ル可シ、故ニ國中
ニ人民教育ノ入費ヲ出サシムルハ之ヲ貪ルニ非ラス、實ハ却テ其稅
額ヲ減少センカ為メナリ、且右ノ如ク教育ノ為メニ稅ヲ集メテ之ヲ
用ユル所ハ惡人ヲ罰スル為メニハ非スシテ、人ノ善ヲ助クル人ノ幸
福ヲ成ス為メニ費スカ故ニ、假令或ハ名実齟齬スルコトアルモ其稅
ヲ出シタル者ノ身ニ於テ之ヲ考フレハ金ヲ費ス所以ノ趣意ヲ信シテ
自カラ心ニ慊キコトアルヘシ、大凡人情ニ於テ人ノ惡ヲ罪スルヨリ
モ人ノ善ヲ見ルヲ好マサルモノナシ、第八章

貧人ノ子ヲ引取テ懇到ニ世話教育スルハ文明國ノ教官ニ月俸多キ
モノニ能ハサレトモ亦其人ノ仁慈德行ニ由ルナリ、苟モ不仁不恕
ナル教官ハ假令月俸多ク餘リアレトモ貧生ヲハ周旋尽力ヲアマリ
引受ケセヌモノナリ、況ヤ煩勞入費アルヲヤ、然レトモ救窮ト罰
惡トニ費ス稅ヲ學問ニ費ス理ヲヨクク會得シテ貧生ヲ教化スルヲ
榮名トスル風ニ引移ストキハ多欲ノ教官モ必ス周旋尽力セサルヲ
得サル勢トナルヘシ、是文明國ノ政令然ラシムル所以ナリ、此政
令法律ノ人心ニ徹底スルハ中々不開章昧ノ國ノ能ハサル所也 **柵**
ヲ未然ニ防ク趣意 **柵** 八万事ニ付テ大ニ為スヘキコトナレトモ教化

ハ尤モコノ策第一ナリ、何トナレハ既ニ不考等ニテ貧クナレル人
ヲ一旦救恤シタリトモ必シモ貧ノ根ヲ抜クト云ニモ非ス、或ハ之
ヲ付込テ思ニ馴レ益貧ニ苦シムモアルヘシ、又既ニ惡ヲ為シタル
罪人ヲ罰スルトモ惡人ナレハ必シモ懲テ善人ニ遷ルト云ニモ非
ス、或ハ之ニアマヘテ却テ益惡ヲ為スモアルヘシ、今コノ人ヲシ
テヨクク懇倒ヲ尽シ教育シテ底心ヨリ悔改ムルニ至ラハ、徒ニ二
者ノ弊ナキノミナラス永ク此人ヲシテ良民タラシメ、勤勞刻苦シ
テ貧ヲ免カレ善人トナルトキハ、實ニ禍ヲ未然ニ防クニアラズヤ
或人云、國民ヲシテ強ヒテ其子弟ヲ教育セシメントスルハ、即人ノ
家事私用ニ関係シテ之ヲ妨ルコトナレハ其處置宜シキヲ得ルモノニ
非ラスト、然レトモ此說甚非也、政府ハ常ニ正道ノ行ハル、ヤ否ヲ
察シ、國民ノ安寧ナルヤ否ヲ見テ、若然ラサル所アレハ則國法ヲ以
テ之ニ関係シテ其處置ヲ施サ、ルヘカラス、罪人ヲ罰スルノ法モ語
ヲ易ヘテ之ヲ云ヘハ人ノ私事ヲ妨ルヨリ他ナラス、然レトモ今一家
族ノ内ニ罪ヲ犯ス者アリテ、子ハ父ノ為メニ匿シ、父ハ子ノ為メニ
匿サントスルモ、法ニ於テ宥スヘカラス、故ニ云、政府若シ人ヲ罰
スルノ權アラハ亦人ヲ教ユル權ナカルヘカラズト、是古今ノ金言ナ
リ、刑罰ハ人ノ身ニ苦痛ヲ受ケシムルコトナレトモ、世間一般ノ為
メヲ謀レハ尚之ヲ施行シテ妨ナシ、況ヤ教育ハ其人ヲ利スルノ趣意
ナレハ之ヲ行フニ於テ何等ノ故障アルヘキヤ、余輩斷シテ云、若シ
世間一般ノ為ニ斯ル大利益ノ事アラハ、假令人ノ身ニ苦楚疼痛ヲ覺
ヘシムルトモ必ス之ヲ行ハサルヘカラス、第九章

人ノ家事私用ニ関係 トハ、家内ノ仕事即私用ナリ、人家ニハ

種々ノ用事多キモノニテ、若或ハ他ヨリ学問ヲ勸メ修行ヲ強ユル
トキハ其家人必ス私用ヲ妨クルト思ヒ忌嫌フモノ亦凡俗ノ通情ナ
リ、サレバ学問ハ人ノ家事ヲ妨ケ日用ノ邪魔ナリト誰モク思ヒ込
居ル處ヘ外ヨリ無理ニ学ヲ勸ムルハ六ヶシキ諷ナリ、然レトモ此
説ノ非ナルヲヨクク辨シ明メサレハ何迄モ文明ノ教化ハ行ハレサ
ルナリ、是政府ノ與ル所以ニシテ俗弊ヲ矯メ除クハ在上有司ノ職
掌ナリ、國法ヲ以テ其處置ヲ為スニ非レハ人民畏服セス、其事実
行ハレ難シ、予嘗驗スルニ、壯年家事アルモノニ学ヲ勸メ強テ講ヲ聽キ修行セシメントスレハ、
必ス其身已ニ厭フノミナラス、家人必ス之ヲ怒リ、人ノ家事ヲ妨クルトセサルナシ、
一嘗一書生ニ謂テ曰、郷等一二圓ノ金ヲ途中ニ遺棄セシト、学問欠席且修行妨害アルト何レカ可惜トスルヤ
ト、生良久シテ曰、吾一二圓金ノミナラス僅カニ二分ヲ遺テモ悔恨已マス、学問ニ比スレハ實ニ重キコ
ト幾等ヲ知ラス真ニ可愧ト、余笑云、郷ハ可レ謂直人直語スルモノト、人情大抵実ニ
然リ、学問ニ入費ヲ厭フモノノ情ナリ、ヨクク思ヒテ致サハ人生一番ノ大事ナルヲヤ、**政府人ヲ**

罰スルノ權アラハ人ヲ教ユルノ權ナカルヘカラス實ニ名言ナリ、
蛮野ノ政府ハ只人ヲ罰スルノ權柄ヲ保ツノミ、教育ノ何物タルヲ
知ラス、毎ニ實罰々々ト云諫ケト賞モ教ナキ賞ナレハ多クハ濫賞
ナリ、文明進歩ノ国ハ教化ノ本ヲ政府之ヲ統ルノミナラス、教ノ
權ハ教師ニ讓リテ政府ハ其妨害ヲ護衛スルノミ、是一層ノ進歩ノ
効驗也、教育ノ真ニ世ノ大利益アルヲ知レハ**假令ヒ人ノ身ニ苦**
楚疼痛ヲ覺ヘシムルモ必ス之ヲ行ハサルヘカラスト實ニ過言ニ

非ルナリ、支那ノ古ヘ教刑ニ鞭ヲ用ヒシ聖人ノ意尤モ面白キ也、
因ニ云、人ノ親ノ子ニ於ル折檻打擲シテナリトモ教訓スルハ實ニ親ノ慈愛ナリ棄テ教ヘサルハ不慈ノ甚
ト云ヘシ、子ヲ易ヘテ教ユト云、支那ノ風モ亦謂ナキニアラス、但文明ノ學校アル世ハ必シモ然ラス、